

令和 2 年度

# 事業報告

(令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日)

社会福祉法人嘉麻社会福祉協議会

# 目 次

## □法人運営部門

1. <u>総務係</u> に関する事業報告 .....	1
------------------------------	---

## □地域福祉・在宅福祉推進部門

2. <u>地域生活支援係</u> に関する事業報告 .....	8
----------------------------------	---

### 3. 総合相談・地域づくり推進係

①かま生活支援・相談センター（コミュニティワークセンター）に関する事業報告 .....	12
---	----

②かま権利擁護センターに関する事業報告 .....	18
---------------------------	----

③かま自立相談支援センターに関する事業報告 .....	21
-----------------------------	----

④かまひきこもり相談支援センターに関する事業報告 .....	30
--------------------------------	----

⑤かまボランティア・市民活動センターに関する事業報告 .....	31
----------------------------------	----

4. <u>在宅介護等支援係</u> に関する事業報告 .....	34
-----------------------------------	----

# 令和2年度 事業報告書

令和2年度における各事業・活動について、その実績を部門の係及びセンターごとに報告いたします。

## 法人運営部門【総務係】に関する事業報告

### ■法人運営事業

#### 1. 会議

##### (1) 会長・副会長会議の開催

回	開催年月日	出席者数	内 容
86	令和2年5月20日(水)	2人	<議案関係> ①令和元年度事業報告及び収支決算について ②令和2年度第一次補正予算について ③副会長の互選について ④評議員補欠選任候補者について ⑤第4回定時評議員会の開催について <報告関係> ①定款第21条第4項に係る理事会報告事項について ②登記手続きの完了について ③コロナ禍の影響で休業や失業した方への生活福祉資金特例貸付について
87	令和2年9月9日(水)	3人	<議案関係> ①令和2年度第二次補正予算について ②就業規則の一部改正について ③かまボランティア・市民活動センター運営委員会理事選出委員の選任について ④第47回評議員会の開催について <報告関係> ①理事補欠選任候補者について ②地域福祉活動職員の採用について
88	令和2年10月30日(金)	3人	<協議関係> ①令和3年度職員採用(新卒者)試験 採用内定者について
89	令和2年12月3日(木)	3人	<議案関係> ①評議員補欠選任候補者について ②訪問介護事業の今後の方向性について <報告事項> ①定款第21条第4項に係る理事会報告事項について ②地域福祉活動職員の採用について
90	令和3年2月8日(月)	3人	<協議関係> ①役員、評議員、評議員選任・解任委員会委員の一斉改選について ②評議員選任規程の改正について ③第91回会長副会長会議、第73回理事会、第48回評議員会の日程について <報告関係> ①令和2年度の決算見込みについて ②高額寄付について ③令和3年度以降の配食サービスの受託について ④令和3年度の職員体制について
91	令和3年3月5日(金)	3人	<議案関係> ①定款の一部変更について ②規程の改正及び廃止について ③ハラスメントの防止に関する規程の制定について ④職員研修実施規程の制定について ⑤令和2年度第三次補正予算について ⑥令和3年度事業計画及び収支予算について ⑦第48回評議員会について <報告事項> ①令和3年度配食サービスの受託について ②高額寄付について ③令和3年度職員体制について

##### (2) 理事会の開催

回	開催年月日・時間	出席者数	内 容
70	令和2年6月11日(木) 10時～11時13分	理事10人 監事2人	議案第218号 令和元年度事業報告及び収支決算について 監査報告 議案第219号 令和2年度第一次補正予算について 議案第220号 副会長の選定について 議案第221号 評議員補欠選任候補者について 議案第222号 第4回定時評議員会の開催について 報告第63号 定款第21条第4項に係る理事会報告事項について 報告第64号 登記手続きの完了について 報告第65号 コロナ禍の影響で休業や失業した方への生活福祉資金特例貸付について
71	令和2年9月17日(木) 9時55分～10時28分	理事10人 監事2人	議案第223号 令和2年度第二次補正予算について 議案第224号 職員就業規則の一部改正について 議案第225号 かまボランティア・市民活動センター運営委員会の委員選出について 議案第226号 第47回評議員会の開催について 報告第66号 理事補欠選任候補者について 報告第67号 地域福祉活動職員の採用について
72	令和2年12月15日(火) 10時～10時59分	理事11人 監事2人	議案第227号 評議員補欠選任候補者について 議案第228号 訪問介護事業の今後の方向性について 報告第68号 定款第21条第4項に係る理事会報告事項について 報告第69号 地域福祉活動職員の採用について 報告第70号 高額寄付について
73	令和3年3月16日(火) 9時59分～11時52分	理事11人 監事2人	議案第229号 定款の一部変更について 議案第230号 規程の改正及び廃止について 議案第231号 ハラスメントの防止に関する規程の制定について 議案第232号 職員研修実施規程の制定について 議案第233号 令和2年度第三次補正予算について 議案第234号 令和3年度事業計画及び収支予算について 議案第235号 第48回評議員会について 報告第71号 令和3年度以降の配食サービスの受託について 報告第72号 高額寄付について 報告第73号 令和3年度職員体制について

**(3) 定時評議員会の開催**

回	開催年月日・時間	出席者数	内 容
4	令和2年6月26日(金) 10時00分～11時15分	評議員17人 正副会長3人 監事2人	議案第97号 平成元年度事業報告及び収支決算について 監査報告 議案第98号 令和2年度第一次補正予算について 報告第18号 副会長の選定結果について 報告第19号 登記手続きの完了について 報告第20号 コロナ禍の影響で休業や失業した方への生活福祉資金特例貸付について

**(4) 臨時評議員会の開催**

回	開催年月日・時間	出席者数	内 容
47	令和2年9月28日(月) 10時00分～10時21分	評議員19人 正副会長3人	議案第99号 令和2年度第二次補正予算について 議案第100号 理事の補欠選任について 報告第21号 地域活動職員の採用について
48	令和3年3月26日(金) 10時00分～11時22分	評議員17人 正副会長3人	議案第101号 定款の一部変更について 議案第102号 令和2年度第三次補正予算について 議案第103号 令和3年度事業計画及び収支予算について 報告第22号 訪問介護事業等の廃止について 報告第23号 令和3年度以降の配食サービスの受託について 報告第24号 令和3年度 職員体制について

**(5) 評議員・選任解任委員会の開催**

回	開催年月日・時間	出席者数	内 容
6	令和2年6月18日(木) 9時55分～10時21分	5人	補欠評議員候補者についての審議及び議決
7	令和2年12月18日(金) 10時00分～10時18分	5人	補欠評議員候補者についての審議及び議決

**(6) 苦情解決第三者委員会の開催**

回	開催年月日・時間	出席者数	内 容
11	令和2年6月29日(月) 13時30分～14時42分	3人	① 苦情受付体制の変更について ② 令和元年度 苦情受付について ③ 任期満了に伴う苦情解決第三者委員の改選について

**2. 監 査****(1) 内部監査の実施**

実施年月日・時間	監査実施者	内 容
令和2年6月3日(水) 10時00分～11時45分	深町俊一 中野勝己	令和元年度事業及び収支決算監査 ・社会福祉会計基準に基づく計算書類の様式等に関するチェック ・会計帳票等のチェック ・預貯金通帳、定期証書及び残高証明書・財産目録との照会

**(2) 外部監査の実施**

実施年月日	監査実施者	内 容
令和2年4月28日(火)	川邊拓也税理士事務所	令和元年度3月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合
令和2年5月21日(木)	川邊拓也税理士事務所	令和元年度決算監査 ・計算書類の調査指導並びに計算書類外の事項の調査指導
令和2年5月25日(月)	川邊拓也税理士事務所	令和2年度4月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合
令和2年6月24日(水)	川邊拓也税理士事務所	令和2年度5月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合
令和2年7月27日(月)	川邊拓也税理士事務所	令和2年度6月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合
令和2年8月28日(金)	川邊拓也税理士事務所	令和2年度7月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合
令和2年9月29日(火)	川邊拓也税理士事務所	令和2年度8月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合

令和2年11月6日(金)	川邊拓也税理士事務所	令和2年度9月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合
令和2年11月27日(金)	川邊拓也税理士事務所	令和2年度10月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合
令和2年12月28日(月)	川邊拓也税理士事務所	令和2年度11月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合
令和3年1月27日(水)	川邊拓也税理士事務所	令和2年度12月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と伝票との突合
令和3年2月26日(金)	川邊拓也税理士事務所	令和2年度1月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と伝票との突合
令和3年3月30日(火)	川邊拓也税理士事務所	令和2年度2月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と伝票との突合

### 3. 役員・評議員等の欠員補充

#### (1) 欠員補充に伴う理事の選任

後任理事名	選出区分	所属団体	任期
末吉 進一	住民組織の代表的性格団体・組織選出	嘉麻市行政区長連合会	令和2年9月28日～令和2年会計年度にかかる定時評議員会結終の時まで(令和3年6月開催予定)

#### (2) 欠員補充に伴う評議員の選任

後任評議員名	選出区分	所属団体	任期
田中 正博	各地域福祉推進委員会代表	嘉徳地域福祉推進委員会	令和2年6月18日～令和2年会計年度にかかる定時評議員会の結終の時まで(令和3年6月開催予定)
田中 マスミ	社会福祉に関する活動を行う団体	オレンジサロン「ニコニコ会」	令和2年6月18日～令和2年会計年度にかかる定時評議員会の結終の時まで(令和3年6月開催予定)
古賀 修治	小中学校教職員	嘉麻市小中学校校長会	令和2年6月18日～令和2年会計年度にかかる定時評議員会の結終の時まで(令和3年6月開催予定)
杉野 晴一	高等学校教職員	福岡県立稲築志耕館高等学校	令和2年6月18日～令和2年会計年度にかかる定時評議員会の結終の時まで(令和3年6月開催予定)
小山田 弘志	小中学校PTA連合会	嘉麻市小中学校PTA連合会	令和2年6月18日～令和2年会計年度にかかる定時評議員会の結終の時まで(令和3年6月開催予定)
西坂 勝正	地域福祉推進に必要な主要な団体	嘉麻市社会福祉協議会福祉推進員会	令和2年6月18日～令和2年会計年度にかかる定時評議員会の結終の時まで(令和3年6月開催予定)
宮崎 裕	民生委員・児童委員	嘉麻市民生委員児童委員協議会	令和2年12月18日～令和2年会計年度にかかる定時評議員会の結終の時まで(令和3年6月開催予定)

### 4. 定款変更及び規程等の制定・改廃

#### (1) 定款の変更

項目	内容	改正年月日	適用年月日
定款の一部変更	第2条(事業)の変更	令和3年3月26日	令和3年4月9日(認可証到達日)

#### (2) 規程の制定

規程名	制定年月日	施行年月日
ハラスメントの防止に関する規程	令和3年3月16日	令和3年4月1日
職員研修実施規程	令和3年3月16日	令和3年4月1日

#### (3) 規程の一部改正

規程名	改正年月日	施行年月日
職員就業規則の一部改正	令和2年9月17日	平成29年10月1日
評議員選任規程の一部改正	令和3年3月16日	令和3年4月1日
規程管理規程の一部改正	令和3年3月16日	令和3年4月1日
会長専決に関する規程の一部改正	令和3年3月16日	令和3年4月1日
事務局規程の一部改正	令和3年3月16日	令和3年4月1日
自用車の業務用使用に関する規程の一部改正	令和3年3月16日	令和3年4月1日
職員就業規則の一部改正	令和3年3月16日	令和3年4月1日
臨時的任用職員就業規則の一部改正	令和3年3月16日	令和3年4月1日
再雇用職員就業規則の一部改正	令和3年3月16日	令和3年4月1日
育児・介護休業等に関する規程の一部改正	令和3年3月16日	令和3年4月1日
臨時的任用職員賃金規程の一部改正	令和3年3月16日	令和3年4月1日
職員給与規程の一部改正	令和3年3月16日	令和3年4月1日
通信教育取扱規程の一部改正	令和3年3月16日	令和3年4月1日
退職手当金規程の一部改正	令和3年3月16日	令和3年4月1日
安全・衛生管理規程の一部改正	令和3年3月16日	令和3年4月1日
職員の人事記録に関する規程の一部改正	令和3年3月16日	令和3年4月1日

特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針の一部改正	令和3年3月16日	令和3年4月1日
個人情報保護規程の一部改正	令和3年3月16日	令和3年4月1日
特定個人情報取扱規程の一部改正	令和3年3月16日	令和3年4月1日
経理規程の一部改正	令和3年3月16日	令和3年4月1日
業務の運営に関する規程の一部改正（無料職業紹介事業）	令和3年3月16日	令和3年4月1日

(4) 規程の廃止

規程名	議決年月日	廃止年月日
職員研修規程の廃止	令和3年3月16日	令和3年4月1日
セクハラ防止規程の廃止	令和3年3月16日	令和3年4月1日
登録訪問介護員就業規則の廃止	令和3年3月16日	令和3年4月1日
介護保険事業経営安定化基金規程の廃止	令和3年3月16日	令和3年4月1日
かま指定計画相談支援事業所運営規程の廃止	令和3年3月16日	令和3年4月1日
かま訪問介護事業所・介護予防・日常生活支援総合事業 第1号訪問介護事業所運営規程の廃止	令和3年3月16日	令和3年4月1日
かま障がい者居宅介護事業所運営規程の廃止	令和3年3月16日	令和3年4月1日

(5) 実施要綱の制定

実施要綱名	制定年月日	施行年月日
介護事業見直し委員会設置要綱	令和2年4月22日	令和2年6月1日

5. その他の事業

(1) 損害賠償責任保険への加入

本会役員が損害賠償請求の当事者となるリスクに備えて、社協の保険の損害賠償責任保険に加入した。保険適用期間：令和3年3月31日まで

(2) 健康診断の実施

令和2年8月～11月 職員に健康診断を受けてもらった。(受診職員21名)

(3) インフルエンザ予防接種の実施

令和2年11月9日(月)～12日(木) 希望する職員にインフルエンザの予防接種を受けてもらった。(接種職員13名)

(4) 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取り組み

・事務所来客コーナー、かま自立相談支援センター、相談室にアクリル板を設置し、面談等による飛沫感染防止に努めた。  
また、事務所、かま自立相談支援センター、かま訪問介護事業所に空気清浄機を設置し、空気感染の防止に努めた。

(5) 働き方改革に関する取り組み

・働き方改革関連法が平成31年4月より主要部分が施行されたことにより、本会においても年10日以上の有給休暇付与者に時期を指定して年5日以上の有給休暇を与えた。

雇用形態	付与日数	取得日数	取得率
正規職員(8名)	320日	42日	13.1%
再雇用職員(2名)	72日	22日	30.6%
嘱託職員(2名)	43日	11日	25.6%
臨時職員(1名)	14日	7日	50.0%
合計	449日	82日	18.6%

(6) 職員研修の実施

研修区分	実施年月日・時間	内容	参加者	会場
同和研修	令和2年7月22日(水) 午後5時15分～午後6時15分	テーマ「同和問題について」 講師 嘉麻市社会福祉協議会 会長 坂田 勲 氏	13人	山田ふれあいハウス 会議室
基礎研修	令和2年10月31日(土) 午前10時～午後3時	地域共生社会をめざして 行政職員・社協職員研修会 第一部 テーマ「知的・発達障がい者の心をつなぐ疑似体験」 講師 社会福祉法人福岡市手をつなぐ育成会保護者会 会長 下山 いわ子 氏 第二部 テーマ「愛すること、学ぶこと、生きるころ ～声を失ったダウン症の息子が気づかせてくれた「人間 的な成長」と「自分らしく幸せな生き方」～ 講師 アクシスエボリューション 田中 伸一 氏	第一部 22人 第二部 22人	嘉麻市山田市民センター 講堂

(7) 職員募集及び採用試験の実施

本会の正規職員（幹部候補・地域福祉活動）を採用するため、年間を通して職員募集を継続し、随時採用試験を行った。

試験区分	募集方法	応募者数	第一次試験 (一般教養・小論文)	第二次試験 (面接)	結果
幹部候補職員	ハローワーク・求人情報紙掲載他	1人	令和2年8月26日(水)	—	合格基準点に届かず、一次試験で不合格とした。
地域福祉活動職員	ハローワーク・求人情報紙掲載他	1人	令和2年8月8日(土)	—	合格基準点に届かず、一次試験で不合格とした。
	ハローワーク・求人情報紙掲載他	1人	令和2年8月11日(火)	令和2年8月22日(土)	令和2年10月1日付で採用した。
新卒採用	福祉系大学・専門学校	4人	令和2年10月13日(火)	令和2年10月23日(金)	第二次試験に2名が臨み、1名を令和3年4月1日付採用の内定者とした。

## (8) 各種団体への助成

助成団体	助成額
嘉麻市行政区長連合会	100,000 円
嘉麻市民生委員児童委員協議会	80,000 円

## (9) ポストカードの販売

取扱先	販売枚数
稲築	0
山田	0
嘉穂	0
カッホー馬古屏	0
合計	0

## (10) 飲料水自動販売機設置事業 (令和2年7月～令和3年3月)

設置場所	販売本数	収入額
山田ふれあいハウス	1,119 本	21,898 円
合計	1,119 本	21,898 円

※振込手数料 330 円含む

## (11) 苦情解決第三者委員会委員の改選 (任期：令和2年9月1日～令和4年8月31日まで)

委員氏名	選出区分
中村 恒行	民生委員・児童委員
多田 宏	民生委員・児童委員
福田 哲也	司法書士

## (12) 苦情の申し出 苦情申出件数 13 件

## □苦情の内容

区分	件数
事業（サービス）の内容	13
ケアの内容	0
個人の嗜好・選択	0
財産管理・遺産・遺言等	0
制度、法律、施策	0
その他	0
合計	13

## □苦情の事業分類

地域福祉事業 (件)	介護保険事業 (件)	計画相談支援事業 (件)	受託事業 (件)
2	0	1	10

## □結果

第三者委員へ申し立て	話し合いへの第三者委員の助言・立会い希望	福岡県苦情解決運営適正化委員会へ申し立て	継続中	解決済み
0	0	0	0	13

## (13) 寄附

地区名	香典返し	初盆返し	一般寄附	物品寄附	合計	
稲築地区	件	24	0	1	0	25
	額	596,000	0	2,000	-	598,000
碓井地区	件	6	0	0	0	6
	額	90,000	0	0	-	90,000
山田地区	件	19	0	2	0	21
	額	260,000	0	21,340	-	281,340
嘉穂地区	件	29	1	3	1	33
	額	515,000	30,000	28,435	切手 3,175 円分(個人)	573,435
市外	件	7	0	7	0	14
	額	113,000	0	216,500	-	329,500
合計	件	85	1	13	1	99
	額	1,574,000	30,000	268,275	切手 3,175 円分(個人)	1,872,275

(14) 山田ふれあいハウスの維持・管理

内 容	施工業者及び施行日
浄化槽蓋取替	(有)田中サニタリー工業 令和2年4月15日(金)
消防用設備等点検	(有)筑邦トーハツ商会 令和2年5月13日(水) 令和2年11月9日(月)
駐車場散水栓修繕	(有)大塚給水工業 令和2年7月6日(月)
建物一部天井の防水加工	(株)西田建設 令和2年10月1日(木)~11月16日(月)
女子トイレ照明修繕	(有)山田電機 令和2年11月27日(金)
敷地内の樹木選定	井手グリーンサービス 令和3年2月3日(水)

(15) 防火訓練の実施

令和3年2月16日(火) 15時30分~16時30分 参加者数9人

内容 ①火災発生・避難訓練・通報訓練

②避難後の点呼

③訓練終了後、水消火器を使用し、使い方を再確認した

④AEDが館内に設置されているので、使用方法を確認し、緊急時の対応についても確認を行った

(16) 研修・連絡会等への参加

参加年月日	内 容	会 場	出席者
令和2年7月1日(水)	令和2年度福岡県日常生活自立支援事業専門員業務説明会	クローバープラザ	内田 広美
令和2年7月30日(木)	令和2年度成年後見制度利用促進基礎会活動報告	クローバープラザ	小川 史佳
令和2年7月30日(木)	令和2年度集団指導(障がい)	福岡市吉塚合同庁舎	平田 裕子
令和2年8月7日(金)	法人後見受任社協連絡会	クローバープラザ	渡辺 進 小川 史佳
令和2年8月17日(月)	令和2年度福岡県日常生活自立支援事業生活支援員研修会(初任者編)	クローバープラザ	山下 太助
令和2年9月9日(水)	令和2年度福岡県相談支援従事者現認研修	福岡市福岡ソフトバンクリサーチパークSRPホール	牧口 輝代
令和2年9月23日(水)	2020年度ひきこもり問題の理解促進と支援向上のための研修会	クローバープラザ	内田 広美
令和2年9月25日(金)	令和2年度福岡県相談支援従事者現認研修	福岡市福岡ソフトバンクリサーチパークSRPホール	牧口 輝代
令和2年9月29日(火)	令和2年度飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワーク第1回全体会議	飯塚市役所	渡辺 進
令和2年10月24日(土)・25日(日)	災害ボランティアセンター運営者育成研修	福岡市八重洲博多ビル	内田 広美 安武 祐也
令和2年10月26日(月)	令和2年度福岡県相談支援従事者現認研修	福岡市福岡ソフトバンクリサーチパークSRPホール	牧口 輝代
令和2年11月11日(水)	令和2年度食中毒予防講習会	夢サイトかほ	大里 美智代
令和2年11月12日(木)	令和2年度ひきこもり支援者研修会及び地域ネットワーク会議	飯塚総合庁舎	内田 広美
令和2年11月20日(金)	令和2年度福岡県相談支援従事者現認研修	福岡市福岡ソフトバンクリサーチパークSRPホール	牧口 輝代
令和2年11月25日(水)	令和2年度福岡県日常生活自立支援事業生活支援員養成研修会(後期)	宮若市社会福祉センター	安武 祐也
令和2年12月2日(水)	食品衛生責任者養成講習会	飯塚総合庁舎	金子 みつ子
令和2年12月4日(金)	令和2年度市町村社協会長・常務理事・事務局長研修会	福岡県中小企業振興センター	渡辺 進
令和2年12月9日(水)	令和2年度成年後見制度利用促進実務研修会	クローバープラザ	小川 史佳 山下 太助
令和2年12月13日(月)	職業紹介責任者講習	福岡市天神ビル	土屋 亜樹

(17) 役職員の行政等委員会委員の就任状況

区分	委員会名	現委員名	任 期
嘉麻市	嘉麻市人権啓発センター運営審議会	野見山 利三	令和2年4月1日~令和4年3月31日
	嘉麻市嘉隣保館運営審議会	石川 颯子	令和2年4月1日~令和4年3月31日
	嘉麻市民生委員推薦会	野見山 桂子	平成30年6月30日~令和3年6月29日
	嘉麻市地域福祉計画策定委員会	渡辺 進	平成30年5月19日~令和3年5月18日
	嘉麻市配偶者等からの暴力の防止対策連絡協議会	渡辺 進	平成31年1月28日~令和3年1月27日
	嘉麻市地域包括支援センター運営協議会	小川 史佳	令和2年11月1日~令和4年10月31日
	嘉麻市地域密着型サービス運営委員会	小川 史佳	令和2年11月1日~令和4年10月31日
	嘉麻市差別のない人権が尊重されるまちづくり審議会	小川 史佳	令和2年10月1日~令和4年9月30日
	嘉麻市地域情報化推進協議会	伊藤 美穂	令和2年2月1日~令和4年1月31日
	嘉麻市障がい者施策推進協議会	牧口 輝代	令和2年4月1日~令和4年3月31日
	嘉麻市自殺対策連絡協議会	山崎 あゆみ	令和2年4月1日~令和4年3月31日
	嘉麻市空き家等対策協議会	内田 広美	令和2年2月3日~令和4年2月2日
	嘉麻市防災会議	山下 太助	令和2年4月1日~令和4年3月31日
福岡県社協	市町村社協委員会	坂田 勲	平成30年11月1日~令和2年10月31日
飯塚・嘉麻・桂川障がい者基幹相談支援センター	飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワーク委員会	渡辺 進	令和2年4月1日~令和4年3月31日

## (18) 車両の管理

区分	車両名	車種	車両No.	運行回数 (回)	走行距離 (km)	給油量 (ℓ)	整備・点検等				備考
							車検	タイヤ	オイル	修理等	
法人運営 (3台)	ダイハツムーブ	軽	筑豊 80 あ 264	443	5,887	449.72		2本	●		3月廃車
	トヨタハイエース	普通	筑豊 300 と 44-63	11	109	52.53	●				
	トヨタプリウス	普通	筑豊 500 ち 15-24	66	1,319	76.36					
	小計			520	7,315	578.61	1	2本	1		
地域活動 (1台)	ダイハツミラ	軽	筑豊 480 い 93-96	620	11,610	679.93	●	4本	●	●	
	小計			620	11,610	679.93	1	4本	1	1	
日常生活 (2台)	ダイハツハイゼット	軽	筑豊 480 う 90-58	264	5,220	332.32			●	●	
	スズキスペーシア	軽	筑豊 580 て 71-98	487	9,566	443.71			●		
	小計			751	14,776	776.03			2	1	
生活困窮 (2台)	スズキアルト	軽	筑豊 580 つ 645	532	10,245	452.35	●		●	●	
	ニッサンパネット	普通	筑豊 400 す 520	259	4,369	475.75	●			●	
	小計			791	14,614	928.10	2		1	2	
かま訪問 (4台)	ダイハツミラ	軽	筑豊 40 そ 58-58	539	9,593	721.11			●	●	
	ダイハツミライース	軽	筑豊 580 す 53-47	450	6,878	358.50	●				
	ダイハツミライース	軽	筑豊 580 す 53-44	603	6,623	366.10	●		●	●	
	ダイハツミライース	軽	筑豊 580 す 53-45	460	8,617	409.69	●		●		
	小計			1,952	31,711	1,855.40	3		3	2	
山田配食 (2台)	ダイハツミライース	軽	筑豊 580 そ 12-62	395	8,304	636.38	●	8本			
	ダイハツミラ	軽	筑豊 40 た 24-98	365	6,005	723.97	●	2本		●	
	小計			760	14,309	1,360.35	2	10本		1	
稲築配食 (3台)	ダイハツミラ	軽	筑豊 580 と 70-12	367	8,973	649.87		4本	●		
	ダイハツミラ	軽	筑豊 580 と 70-13	368	11,230	812.79		5本	●		
	ダイハツハイゼット4WD	軽	筑豊 480 き 57-16	368	11,647	1,201.02					
	小計			1,103	31,850	2,663.68		9本	2		
嘉穂配食 (1台)	ダイハツミラ	軽	筑豊 480 あ 15-87	363	13,696	1,084.32		2本	●	●	
	小計			363	13,696	1,084.32		2本	1	1	
碓井配食 (1台)	ダイハツミラ	軽	筑豊 480 き 67-34	368	11,688	997.88					
	小計			368	11,688	997.88					
	合計			7,228	151,569	10,924.30	9	27本	11	8	

# 地域福祉・在宅福祉推進部門

## 【地域生活支援係】事業報告

### ■具体的事業活動

#### 1. 市受託事業

##### (1) 配食サービス事業

##### ① 稲築、山田、碓井、嘉穂地区における配食サービスの実施

- ・実施日 365 日
- ・延べ利用者数 3,018 人（普通食 1,967 人 特別食 1,051 人）
  - 内訳 稲築地区 1,547 人（男性 403 人 女性 1,144 人）（普通食 873 人 特別食 674 人）
  - 山田地区 779 人（男性 241 人 女性 538 人）（普通食 614 人 特別食 165 人）
  - 碓井地区 287 人（男性 123 人 女性 164 人）（普通食 170 人 特別食 117 人）
  - 嘉穂地区 405 人（男性 134 人 女性 271 人）（普通食 310 人 特別食 95 人）
- ・延べ配食数（夕食） 63,601 食（普通食 34,466 食 特別食 29,135 食）
  - 内訳 稲築地区 33,334 食（普通食 13,898 食 特別食 19,436 食）
  - 山田地区 15,651 食（普通食 11,354 食 特別食 4,297 食）
  - 碓井地区 6,598 食（普通食 3,623 食 特別食 2,975 食）
  - 嘉穂地区 8,018 食（普通食 5,591 食 特別食 2,427 食）
- ・一日平均配食数 174 食（稲築地区 91 食 山田地区 43 食 碓井地区 18 食 嘉穂地区 22 食）
- ・朝食延べ提供数 5,897 食（稲築地区 3,073 食 山田地区 1,459 食 碓井地区 1,000 食 嘉穂地区 365 食）

##### ② 衛生管理の徹底

調理員の細菌検査（赤痢・サルモネラ・大腸菌）を 12 回、ノロウイルス細菌検査を 1 回実施した。

##### ③ 配達 山田地区を 2 コース 稲築地区を 3 コース 嘉穂地区を 1 コース 碓井地区を 1 コースの 7 コースに分けて配達した。

##### ④ 転送電話の相談対応 3 件

##### ⑤ 献立ミーティングの開催 12 回開催した。

##### ⑥ お楽しみ弁当の実施 毎月 16 日をお楽しみ弁当の日として、10 回実施した。

##### ⑦ 配食サービス業務委託事業者の選定に応募（プロポーザル方式）

第一次審査 令和 2 年 12 月 11 日（金）

第二次審査 令和 3 年 1 月 15 日（金）審査を経て、令和 3 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までの受託事業者となった。

##### ⑧ 「もしもの時に備える」利用者意向調査の実施

- ・調査対象者 260 人
- ・調査期間（令和 3 年 2 月 8 日から令和 3 年 2 月 28 日）
- ・調査目的 配食サービスに従事する調理員等が、新型コロナウイルスに感染するなど、お弁当が作れないような事態が発生した場合、食事の確保ができない利用者がどのくらいおられるのかを把握し、その代替策について考え具体化することを目的に実施した。
- ・調査結果 食事の確保が「まったくできない」方は 43 人で、この内お弁当でなければ絶対に困ると答えた方が 8 人（稲築 4 人、山田 2 人、碓井 1 人、嘉穂 1 人）おられ、この方々には代替のお弁当を届ける必要があり、残りの 35 人には、代替品（コンビニ弁当・おにぎり・レトルト食品）を届ける必要があることがわかったため、対策を講じて行く。

##### ⑨ 配達時に利用者が不在であった場合の対応

- ・不在の主な理由 介護サービス利用による外出や通院等
- ・電話連絡での安否確認 2,607 回（稲築地区 1,126 回 山田地区 663 回 碓井地区 397 回 嘉穂地区 421 回）

地区	令和 2 年度	令和元年度	比較増減
稲築地区	1,126	1,525	△399
山田地区	663	719	△56
碓井地区	397	374	23
嘉穂地区	421	338	83
合計	2,607	2,956	△349

・再訪問での安否確認 1,067 回（稲築地区 1,036 回 山田地区 27 回 碓井地区 0 回 嘉穂地区 4 回）

地区	令和 2 年度	令和元年度	比較増減
稲築地区	1,036	386	650
山田地区	27	33	△6
碓井地区	0	6	△6
嘉穂地区	4	2	2
合計	1,067	427	640

##### ⑩ 利用者への緊急対応

地区	年月日：時間	配達時の状況及び対応
山田地区	令和 2 年 10 月 3 日（土） 16 時 30 分	配達時に居間で吐しゃ物倒れているところを発見した。救急車及び関係機関に連絡を入れた。意識はあり、親族も到着されて、救急搬送した。 （一人暮らしの 70 歳代男性で、配食は毎日利用）
稲築地区	令和 2 年 10 月 8 日（木） 17 時 10 分	配達時に屋外で倒れていた。草取りをして動けなくなったとのこと。救急車及び関係機関に連絡を入れた。救急車到着し状態観察を行った。血圧が上昇しており、搬送を促したが、本人が拒否された。翌日、様子伺いで訪問すると、動けない状態だったため、救急車及び関係機関に連絡し、救急搬送した。 （一人暮らしの 80 歳代女性で、配食は毎日利用）

【参考】配食サービス事業実績の年度別比較

地区名	分類項目	令和2年度	令和元年度	比較増減
稲築地区	延べ利用者数（人）	1,547	1,554	△7
	普通食利用者数（人）	873	870	3
	特別食利用者数（人）	674	684	△10
山田地区	延べ利用者数（人）	779	741	38
	普通食利用者数（人）	614	573	41
	特別食利用者数（人）	165	168	△3
碓井地区	延べ利用者数（人）	287	265	22
	普通食利用者数（人）	170	167	3
	特別食利用者数（人）	117	98	19
嘉穂地区	延べ利用者数（人）	405	433	△28
	普通食利用者数（人）	310	337	△27
	特別食利用者数（人）	95	96	△1
利用者合計（人）		3,018	2,993	25
稲築地区	延べ配食数（食）	33,334	33,718	384
	普通食（食）	13,898	13,882	16
	特別食（食）	19,436	19,836	△400
山田地区	延べ配食数（食）	15,651	15,100	551
	普通食（食）	11,354	10,228	1,126
	特別食（食）	4,297	4,872	△575
碓井地区	延べ配食数（食）	6,598	6,331	267
	普通食（食）	3,623	3,643	△20
	特別食（食）	2,975	2,688	287
嘉穂地区	延べ配食数（食）	8,018	7,919	99
	普通食（食）	5,591	5,135	456
	特別食（食）	2,427	2,784	△357
配食数合計（食）		63,601	63,068	533
稲築地区	一日平均配食数（食）	91.3	92.1	△0.8
山田地区	〃	42.8	41.2	1.6
碓井地区	〃	18.0	17.2	0.8
嘉穂地区	〃	21.9	21.6	0.3
一日平均配食数合計（食）		174	172	2
稲築地区	朝食延べ提供数（食）	3,073	3,561	△488
山田地区	〃	1,459	1,083	376
碓井地区	〃	1,000	931	69
嘉穂地区	〃	365	596	△231
朝食延べ提供数合計（食）		5,897	6,171	△274

2. 独自事業

(1)チャイルドシート貸出事業

①相談、貸出、返却等窓口業務実績

貸出件数 32 件（新規貸出 3 件 更新貸出 15 件 未更新貸出 14 件）

申請者と乳幼児との間柄

新規貸出						更新貸出						未更新貸出					
父	母	祖父	祖母	おじ	おば	父	母	祖父	祖母	おじ	おば	父	母	祖父	祖母	おじ	おば
0	1	0	2	0	0	1	5	1	8	0	0	3	8	0	2	1	0

②安全確保のために、定期的な処分と購入

乳幼児用のチャイルドシートを6台購入した。（令和2年7月17日に5台）（令和2年12月21日に1台）

購入後5年以上が経過しているチャイルドシートを5台廃棄した。（令和2年12月21日）

未更新貸出については、令和3年度に利用の意思確認を通知に行う予定

③チャイルドシートの在庫数（令和3年3月31日現在）

種類	在庫数
乳幼児用	8
ジュニア用	6

(2)紙おむつ宅配事業の実施

①相談、配達等の窓口業務

利用者数7人 延べ利用件数51件 販売パック数153袋

【利用者内訳】

性別	稲築		碓井		山田		嘉穂	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
利用者数	3	3	0	0	0	0	0	1

【種類別の販売パック数内訳】

商品名	パンツタイプ			テープ止め タイプ	尿取りパット			
	パワフル パンツ 【S】	パワフル パンツ 【M】	パワフル パンツ 【L】	股モレ防止 通気性【M】	紙おむつ専用 安心フィット	パワフル ワイド 【夜用】	スーパー 【男女共用】	レギュラー 【男女共用】
パック 数	16	85	1	1	33	12	4	1

(3)福祉機器(車いす)貸出事業の実施

①相談、貸出、返却等の相談窓口

車いす貸出件数20件（新規貸出17件 未更新貸出3件）

【利用区分】

介護保険の非該当者	介護保険給付による 機器利用ができない	在宅の障がい者	施設・医療機関からの 一時帰宅	市内小・中学校・ 高等学校	その他
1	8	2	2	5	2

破損や老朽化している車いすを4台破棄し、3台自走式の車いすを購入した。（令和2年12月21日）

未更新貸出については、令和3年度に利用の意思確認を通知にて行う予定

②車いすの在庫数（令和3年3月31日現在）

種類	在庫数
介助式	5
自走式	5

(4)子育てリユースセンターの運営

延べ利用者271人 寄付物品数2,662点

リユース品数1,849点（児童用衣類 帽子 おもちゃ コンビラック チャイルドシート ジュニアシート かばん ランドセル ベビーベッド  
絵本 長靴 体操服 学生服など）

新型コロナウイルス感染症予防対策にて、緊急事態宣言中の期間は休館（令和2年4月1日～5月31日）  
感染予防対策を行いながら実施した。

**(5)バス待合所の管理**

**①バス待合所実態調査の実施**

管理数 34 カ所 (稲築地区)

行政区	待合所名	修理の必要性	行政区	待合所名	修理の必要性	行政区	待合所名	修理の必要性
漆生本村	漆生本村(上り)		鴨生第一	鴨生第一(上り)	柱のひび割れ	辻中竈	中竈り(上り)	床板の補修
漆生本村	沖出(下り)	柱のひび割れ	鴨生第一	鴨生第一(下り)		辻中竈	中竈り(下り)	柱の塗装
漆生中央	稲築八幡宮(福祉バス)		鴨生第一	鴨生口第二(上り)		辻中竈	辻(上り)	
漆生南部	大坪団地	壁の破損	鴨生第一	鴨生口第一(上り)	柱補強・塗装	才田日吉	才田日吉(福祉バス)廃線	
漆生南部	大坪団地(福祉バス)		鴨生第一	鴨生口第一(下り)		平 東	平東(福祉バス)廃線	
西岩崎	神社前(上り)		鴨生第一	稲築交番(上り)		緑ヶ丘	緑ヶ丘(上り)	
口 春	口の春(下り)		鴨生第一	稲築交番(下り)		緑ヶ丘	緑ヶ丘(下り)	
山野第一	山野団地(上り)	壁のひび割れ	鴨生第二	白門(上り)	天井破損	銭代坊	銭代坊(上り)	
山野第一	山野(上り)		鴨生第二	白門(下り)		銭代坊	銭代坊(下り)	梁の塗装
山野第一	山野(下り)		宮 地	宮地(上り)	柱補強・塗装	枝 坂	枝坂(上り)	
山野第一	山野保育園(福祉バス) 廃線		宮 地	宮地(下り)		枝 坂	枝坂(下り)	柱の塗装
			辻中竈	山野宅宅	柱補強・塗装			

・実態調査 令和2年11月25日(水)、12月25日(金)に実施した。

・調査の結果 修理の必要な待合所 1カ所(3年度に修理予定) 11カ所(経過観察の上で修理の時期を判断する)  
廃線 3カ所 (令和3年度に撤去予定)

**②バス停ベンチの廃棄**

稲築地区 山野宅 飯塚オートレース寄贈分破損のため、1台廃棄した。(令和2年12月21日)

嘉穂地区 上牛隈破損、足白・宮野廃線のため、3台廃棄した。(令和2年12月21日)

**(6)アルミ缶等リサイクル事業**

**①アルミ缶等の換金**

換金及び総量 19回 1,420 kg (アルミ缶 8回 690 kg 新聞紙 2回 90 kg 雑誌 2回 160 kg 段ボール 7回 480 kg)

換金額 38,080円 (アルミ缶 34,500円 新聞紙 540円 雑誌 640円 段ボール 2,400円)

**②協力者への回収袋の配布**

アルミ缶の寄付をいただいた方にお礼として回収袋を手渡した。247件(稲築69件 碓井16件 山田72件 嘉穂34件 その他56件)

**3. その他の取り組み**

**(1)児童遊具の撤去**

児童遊具の撤去を希望された8行政区のうち17基の児童遊具を撤去した。

行政区	設置場所	遊具名	撤去日
漆生本村	上黒田	すべり台 ブランコ	令和2年9月29日
	公民館	すべり台 ブランコ	
鴨生第一	公民館	ブランコ	
平第一	下平公民館	ブランコ 低鉄棒	
緑ヶ丘	下町	ブランコ 低鉄棒	
銭代坊	下町	猿渡 ブランコ 低鉄棒	
口 春	巖島神社	すべり台	令和3年3月23日
辻中竈	お堂	すべり台 低鉄棒	
枝 坂	広場	すべり台 ブランコ	

**(2)児童遊具の譲渡**

児童遊具の譲渡を希望された2行政区に3つの児童遊具を譲渡した。

行政区	設置場所	遊具名	譲渡日
山野第一	上黒田	ブランコ	令和3年3月2日
口春	神社境内	ブランコ 低鉄棒	令和3年3月10日

# 地域福祉・在宅福祉推進部門 総合相談・地域づくり推進係

## 【かま生活支援・相談センター】 事業報告

### 1. 総括

これまで、地域にあった住民同士の見守りや支えあい活動は、まずは顔を合わせ、知り合いつながることを大切にしてきましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、自宅で過ごすことが奨励され、高齢者を中心に下肢筋力の低下や孤立が心配されました。ふれあい・いきいきサロンをはじめとする地域行事は自粛され、隣近所はもとより、離れて暮らす家族と会うこともままらなくなりました。感染の拡大防止と経済活動の両立を図るため、Go To キャンペーンなども行われましたが、昨年暮れには、全国で新規感染者が4,000人を超え、1月には2度目の緊急事態宣言が発出され、再び自粛生活を強いられることになりました。求められている新しい生活様式は、人と接する機会を減らすため、孤独感を感じる人や将来を悲観する人などが増え、地域における高齢者の居場所や生きがいの場が減っているように思います。

かま生活支援・相談センター（以下「センター」という。）は、ワンストップ型の総合相談をつうじて、相談者一人ひとりに寄り添う支援を目指しています。福祉なんでも相談には、1,033件（前年比281件増）の相談があり、5つの中学校区に配置したコミュニティソーシャルワーカーが相談を受けました。

高齢者介護課から受託している生活支援体制整備事業では、本来であれば、基礎メンバーのみなさんと一緒に、校区を担当する生活支援コーディネーターが各行政区をまわり、地域を再アセスメントしながら新しい社会資源を発掘するとともに、地域課題を整理することにしていましたが、地域のみなさんに集まってもらうのが難しく、実施できませんでした。11回の開催を予定していた第2層協議体も6回しか行えませんでした。全体会では、ZOOM（インターネットを介したオンライン会議）を活用し、大阪府で活躍されている講師の話を聞くことができ、参加者の皆さんと「できない」「仕方ない」と諦めるのではなく、「コロナ禍でも地域のつながりはつくっていく」ことを共有することができました。また、地域の中には、サロンに変わる新しい取り組みも始まりました。十分な距離をとりながら、短時間でメンバー宅を訪問する見守り活動です。脳トレグッズやお菓子を届けるなど、ウィズコロナ時代の中でつながりを切らさないために、試行錯誤の活動が展開されています。

高齢者だけでなく、子育て世代のおしゃべりサロンでは、小中学校が休校になったことで、自宅にいる時間が長くなり、生活リズムが整わず、新しい学校やクラスになじめないことから不登校になったとの相談や、在宅で家族を介護する方からは、ウイルスを自宅に持ち込まないよう必死に努力しており、介護保険サービスを受けることに不安があるとの思いを吐露される相談もありました。ワクチンの接種率が上がっていくことでしか、状況の改善はないように思いますが、気軽に会えない環境の中で、心の悩みや様々な問題を抱えている人が発するサインにいち早く気づくこと、人と人とのつながりがいかに大切かということを再認識した1年でした。

### 2. 事業実績

#### (1) 相談窓口の開設

##### ①福祉なんでも相談(24時間365日)の受け付け

相談件数 1,033件（男性 439件、女性 505件、団体等 88件、市外 1）

（来所 42件 訪問 248件 時間外訪問 3件 電話 649件 転送電話 4件 メール 79件 その他 8件）

##### ②法律相談 相談件数 20件（稲築 4件、碓井 0件、山田 12件、嘉穂 4件）

##### ③心配ごと相談 相談件数 9件（稲築地区 7件 碓井地区 0件 山田地区 2件 嘉穂地区 0件）

##### ④心配ごと相談員の改選

任期は、令和2年4月1日から令和4年3月31日まで

選出区分	氏名	所属団体
民生委員・児童委員	平井 由子	嘉麻市民生委員児童委員協議会
	仲道 美代子	嘉麻市民生委員児童委員協議会
	松熊 勝彦	嘉麻市民生委員児童委員協議会
	諫山 秀代	嘉麻市民生委員児童委員協議会
人権擁護委員	中嶋 時夫	飯塚人権擁護委員協議会
	大里 茂晴	飯塚人権擁護委員協議会
	坂口 清二	飯塚人権擁護委員協議会
	樺 悦子	飯塚人権擁護委員協議会

##### ⑤相談窓口の周知(啓発)

広報紙やブログを活用し、法律相談や心配ごと相談、新型コロナウイルスに関連する相談窓口を啓発した。

#### (2) 会員の募集及び拡充

##### ①会員募集啓発チラシの配布

事業の啓発チラシを作成し、福祉推進員（稲築地区）や会員募集世話人（山田地区）の方々を通じて加入を呼びかけた。

##### ②山田地区会員募集世話人会の開催

開催年月日/令和2年11月17日（水） 参加者数/17名 開催場所/山田ふれあいハウスホール

内容/1. 令和2年度会員募集のお願いについて（世話人別会員募集資材等について） 2. 会員募集に関する意見交換について

3. 山田地区の地域課題について

③会員加入状況

地区名	個人会員		法人・団体会員		在宅福祉サービス会員				福祉機器 利用会員		空き家管理 サービス 利用会員		合計	
	会員数 (件)	金額 (円)	会員数 (件)	金額 (円)	地域支えあい 事業		在宅介護者の 集い		会員数 (件)	金額 (円)	会員数 (件)	金額 (円)	会員数 (件)	金額 (円)
					会員数 (件)	金額 (円)	会員数 (件)	金額 (円)						
稲築地区	600	621,000	18	128,000	2	2,000	0	0	17	17,000	0	0	637	768,000
碓井地区	7	8,000	0	0	0	0	0	0	2	2,000	0	0	9	10,000
山田地区	215	220,000	3	3,000	1	1,000	0	0	2	2,000	0	0	221	226,000
嘉穂地区	11	14,000	29	29,000	1	1,000	0	0	3	3,000	0	0	44	47,000
市外	6	6,000	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6,000	12	12,000
合計	839	869,000	50	160,000	4	4,000	0	0	24	24,000	6	6,000	923	1,063,000

(3)生活支援体制整備事業の推進(市受託事業)

①協議体の開催

・全体会の開催

日時・会場	内容	参加者
令和3年3月3日(水) 13:30~15:00 山田ふれあいハウス会議室	第1部 「コロナ禍における地域の繋がりづくり」 講師 あそび工房もくもく屋 事務局長 田川雅規さん 第2部 協議体代表者意見交換会	参加者 13名 (市民4名、リモート参加 嘉麻市役 所高齢者介護課9名)

・なつきちゃんにし(稲築西校区)

	日時・会場	内容	参加者
第1回	令和2年7月16日(木) 13:30~15:00 保健センター	・コロナ禍での地域活動について ・災害時の対応について ・見守りの仕組みづくりについて ・今後の協議体について	参加者 6名 (市民等 4名、高齢者介護課 2名)
第2回	令和2年8月20日(木) 13:30~14:30 漆生中央公民館	・協議体とは ・前回の振り返り ・漆生中央行政区について	参加者 5名 (市民等 3名、高齢者介護課 2名)
第3回	令和2年9月17日(木) 13:30~15:00 稲築地区公民館	・前回の振り返り ・災害時の見守りの仕組みづくりについて	参加者 7名 (市民等 4名、在宅介護支援センター 1名、高齢 者介護課 2名)
第4回	令和2年10月15日(木) 13:30~14:30 保健センター	・前回の振り返り ・地域の社会資源や課題について	参加者 7名 (市民等 3名、社会福祉課 2名 高齢者介護課 2名)
第5回	令和2年11月19日(木) 13:30~15:00 稲築地区公民館	・前回の振り返り ・地域づくりのあり方について	参加者 6名 (市民等 4名、高齢者介護課 2名)
第6回	令和2年12月17日(木) 13:30~14:30 稲築地区公民館	・前回の振り返り ・見守りの仕組みづくりについて ・今後の協議体について	参加者 4名 (市民等 2名、高齢者介護課 2名)

・なつきちゃんにしの活動状況及び課題

6回開催し延べ35人が参加した。稲穂園と連携して行っている買い物支援は、コロナ禍のため中止となった。コロナ禍で、不特定多数で集まることは難しいため、見守り活動の展開を目指したいとの声が上がったため、見守り活動を行っている方の話を聞き、仕組みづくりを模索することとなった。

・なつきちゃんひがし(稲築東校区)

	日時・会場	内容	参加者
第1回	令和2年7月16日(木) 10:00~11:00 鴨生北町公民館	・協議体とは ・昨年度の振り返り ・鴨生北町行政区について	参加者 8名 (市民等 5名、在宅介護支援センター 1名、高齢 者介護課 2名)
第2回	令和2年8月20日(木) 10:00~11:00 鴨生第二公民館	・昨年度の振り返り ・通常時とコロナ禍での地域活動について	参加者 6名 (市民等 4名、高齢者介護課 2名)
第3回	令和2年9月17日(木) 10:00~11:30 銭代坊公民館	・前回・昨年度の振り返り ・協議体とは ・コロナ禍での地域活動について ・災害時の心配ごとについて	参加者 10名 (市民等 8名、高齢者介護課 2名)
第4回	令和2年10月15日(木) 10:00~12:00 平東公民館	・前回の振り返り ・災害時、平常時の見守りについて	参加者 10名 (市民等 5名、在宅介護支援センター 1名 社会福祉課 2名、高齢者介護課 2名)

第5回	令和2年11月19日(木) 10:00~11:00 鴨生町公民館	・前回・昨年度の振り返り ・災害時の声かけについて	参加者 7名 (市民等 4名、在宅介護支援センター 1名 高齢者介護課 2名)
第6回	令和2年12月17日(木) 10:00~11:33 枝坂公民館	・前回・昨年度の振り返り ・多世代が交流できる居場所づくりについて	参加者 14名 (市民等 11名、高齢者介護課 3名)

・なつきちゃんひがしの活動状況及び課題

6回開催し延べ55人が参加した。各行政区の公民館を回り、コロナ禍での地域活動について話を聞いた。鴨生第二行政区の自主防災組織の取り組みの中に、住民と一緒に危険箇所を回り、要配慮者マップを作る予定であるため、稲築東校区に広げたいと考えている。

・嘉麻い隊うすい(碓井校区)

	日時・会場	内容	参加者
第1回	令和2年7月17日(金) 13:30~14:30 笹原公民館	・昨年度の振り返り ・コロナ禍での地域活動について ・地域で気になること・人	参加者 7名 (市民等 5名、高齢者介護課 2名)
第2回	令和2年8月21日(金) 13:30~14:30 碓井地区公民館	・前回の振り返り・下白井東行政区での地域活動について ・地域で気になることや人について ・今後の協議体について	参加者 4名 (市民等 2名、高齢者介護課 2名)
第3回	令和2年9月18日(金) 13:30~15:00 上白井公民館	・前回の振り返り ・上白井行政区について(地域活動・災害) ・地域で気になること・人	参加者 3名 (市民等 2名、高齢者介護課 1名)
第4回	令和2年10月16日(金) 13:30~14:30 飯田公民館	・前回の振り返り ・飯田行政区について ・地域で気になること・人	参加者 9名 (市民等 5名、社会福祉課 3名 高齢者介護課 1名)
第5回	令和2年11月20日(金) 13:30~15:00 昭嘉公民館	・前回の振り返り ・コロナ禍の地域活動について ・市バスの利便性について	参加者 12名 (市民等 11名、高齢者介護課 1名)
第6回	令和2年12月18日(金) 13:30~14:30 笹原公民館	・前回の振り返り ・コロナ禍での地域活動について ・今後の活動について	参加者 7名 (市民等 6名、高齢者介護課 1名)

・嘉麻い隊うすいの活動状況及び課題

6回開催し延べ42人が参加した。コロナ禍の影響で、福祉施設の職員が参加することができず、支えあいの仕組みづくりについて話し合うことはできなかった。どの行政区もコロナ禍で地域の集まりがなくなり、高齢者の一人暮らしの方が自宅中心の生活を送っているのではないかと不安の声が聞かれた。他の地区が取り組んでいるラジオ体操を紹介したところ、笹原行政区でやってみたいとの声も聞かれたため、来年度取り組んでいく予定である。

・あつとふるやまだ(山田校区)

	日時・会場	内容	参加者
第1回	令和2年7月28日(火) 13:30~14:30 白馬ホール	・コロナ禍での地域活動を聞き取り ・市バスについて ・今後の協議体について	7名 (市民等 5名、在宅介護支援センター1名、高齢者 介護課 1名)
第2回	令和2年8月25日(火) 13:30~14:30 山田生涯学習館	・市バスの利便性を確認(2人1組のグループに分かれて 時刻表で目的地までの行き方を調べる) ・小さな拠点づくりについて	9名 (市民等 7名、在宅介護支援センター1名、高齢者 介護課 1名)
第3回	令和2年9月29日(火) 13:30~14:30 山田活性化センター	・市バスの利便性を確認(前回調べたことを発表) ・小さな拠点づくりについて	7名 (市民等 5名、在宅介護支援センター1名、高齢者 介護課 1名)
第4回	令和2年10月27日(火) 13:30~14:45 白馬ホール	・今までの振り返り ・地域の課題を整理	10名 (市民等 6名、在宅介護支援センター1名、社会福 祉課 2名、高齢者介護課 1名)
第5回	令和2年11月24日(火) 13:30~14:30 山田生涯学習館	・市バスの調査に向けて	9名 (市民等 6名、在宅介護支援センター1名、高齢者 介護課 2名)
第6回	令和2年12月22日(火) 13:30~14:30 山田活性化センター	・市バスの調査に向けて	7名 (市民等 5名、高齢者介護課 2名)

・あつとふるやまだの活動状況及び課題

6回開催し延べ49人が参加した。買い物や通院を想定し、市バスの時刻表を見ながら出発時間を決め、バスに乗って調査する予定だったが、2度目の緊急事態宣言発出により実施できず、次年度に延期した。時刻表を調べるなかで、ページを何度もめくらなければならず、高齢者にはわかりにくいのではないかと気があったため、乗り継ぎが必要な行政区の集会所から発出する時刻表を作成することにした。

・嘉穂ますます会(嘉穂校区)

	日時・会場	内容	参加者
第1回	令和2年7月20日(月) 10:00～11:00 下牛隈公民館	・昨年度の振り返り ・コロナ禍での地域活動について ・市バスの利便性について ・地域で気になること・人	参加者 10名 (市民等 9名、高齢者介護課 1名)
第2回	令和2年8月24日(月) 13:30～14:30 足白公民館	・前回の振り返り ・協議会とは ・足白行政区について ・移動手段について ・ちょっとした困りごとについて	参加者 12名 (市民等 12名)
第3回	令和2年9月14日(月) 13:30～14:30 夢サイトかほ	・災害時の対応について ・移動手段について ・ちょっとした困りごとについて	参加者 8名 (市民等 7名、高齢者介護課 1名)
第4回	令和2年10月19日(月) 13:30～15:00 旧宮野小学校	・今までの振り返り ・嘉穂校区の社会資源について ・移動手段の利便性の調査に向けて	参加者 15名 (市民等 13名、社会福祉課 2名)
第5回	令和2年11月16日(月) 13:30～14:30 千手いこいの家	・移動手段の利便性の調査に向けて	参加者 12名 (市民等 11名、在宅介護支援センター 1名)
第6回	令和2年12月21日(月) 10:00～11:00 下牛隈公民館	・移動手段の利便性の調査に向けて ・地域で気になること・人	参加者 11名 (市民等 11名)

・嘉穂ますます会の活動状況及び課題

6回開催し延べ68人が参加した。他校区に先駆けて、デマンド型の市バスが運行されたが、枝線が減り、フリー昇降もなくなったことから、移動手段に不安な声が多く聞かれた。協議体のメンバーは自分で車を運転して移動していることから、市バスやデマンド型運行バスのイメージがつきにくい。そのため調査について話し合ったが、令和3年度から市バスのルートや時刻表が変わることから、調査については再検討する必要があると考えている。また、嘉穂地区でも孤立死が増えているとの話もあり、隣近所の声かけやちょっとした変化への気づきが大事だということ共有し、地域の見守りについて話し合うことになった。

②出張相談窓口の開設

協議体の開催に合わせて、出張相談窓口を開設したが、個別相談はなかった。

(4)稲築、碓井、山田、嘉穂地域福祉推進委員会の開催

嘉穂地域福祉推進委員会 1回(第37回)出席者数 7人 5月14日(火)

(5)地域福祉部の拡充・活動支援

①地域福祉部に対する活動費の助成

地域福祉部に対する活動助成 助成件数 18件 助成額 530,000円(稲築地区)

②福祉推進委員会の開催 回数4回 延べ出席者数77人(稲築地区)

③福祉推進員代表者会の開催 回数5回 延べ出席者数22人(稲築地区)

④福祉推進員ブロック別懇談会の開催

第1ブロック 開催年月日 令和3年1月7日(木) 出席者数3人

内容/才田第二公民館にて、各地区の活動状況や福祉課題について話し合った。

第2ブロック 開催年月日 令和3年3月22日(月) 出席者数2人

内容/漆生中央公民館にて、漆生中央行政区の活動状況や福祉課題について話し合った。

第3ブロック 開催年月日 令和3年3月26日(金) 出席者数3人

内容/山野第一公民館にて、各地区の活動状況や福祉課題について話し合った。

第4ブロック 開催年月日 令和3年3月28日(日) 出席者数5人

内容/鴨生町公民館にて、各地区の活動状況や福祉課題について話し合った。

第5ブロック 開催年月日 令和3年3月27日(土) 出席者数5人

内容/銭代坊公民館にて、各地区の活動状況や福祉課題について話し合った。

⑤行政区での住民懇談会及び出前講座の開催

碓井地区 ・碓井地区民生委員児童院協議会にて、協議体の開催日程を案内した。令和2年9月7日(月)、11月2日(月)、令和3年2月8日(月)

山田地区 ・山田民生委員児童委員協議会にて、協議体の開催日程を案内した。令和3年3月12日(金)

嘉穂地区 ・嘉穂地区民生委員児童委員協議会にて、協議体の開催日程を案内した。令和2年8月20日(木)、9月7日(木)、10月15日(木)、令和3年3月18日(木)

(6)ふれあいいきいきサロンの拡充・活動支援

①ふれあいいきいきサロン代表者会の開催 新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため中止した。

②ふれあいいきいきサロンに対する活動費の助成

設置状況 34か所(稲築地区17か所 碓井地区6か所 山田地区5か所 嘉穂地区6か所) ※碓井地区で新規サロンが1か所立ち上がった。

助成件数 34件(稲築地区17か所 碓井地区6か所 山田地区5か所 嘉穂地区6か所)

助成額 883,100円(稲築地区439,300円 碓井地区152,400円 山田地区126,400円 嘉穂地区165,000円)

### ③情報提供活動及び映画上映、出前講座等による活動支援

- 山田地区 ・下宮サロンにて、地域のことを話し合った。令和2年10月21日(水)  
・下宮サロンにて、映画の上映を行った。令和3年3月17日(水)
- 嘉穂地区 ・嘉穂地区民生委員児童委員協議会にて出前講座「相談を通じて感じていること」を行った。令和2年9月17日(木)  
・具嶋サロンにて、協議体の開催日程を案内した。令和2年10月28日(水)、12月9日(水)

### (7)地域支えあい事業の推進

#### ①相談の受付及び登録、コーディネート業務

- ・相談、登録、コーディネート業務・サービス提供実績  
提供回数 37回(稲築地区1回 碓井地区0回 山田地区32回 嘉穂地区4回)  
提供時間 62時間30分(稲築地区1時間 碓井地区0時間 山田地区51時間30分 嘉穂地区10時間)  
提供内容 草取り(5回 10時間) / 草刈り(5回 12時間) / 住居などの掃除・整理整頓(26回 38時間30分) / その他(2回 2時間)

#### ②登録状況 利用会員 登録者数 44人(入会者0人 退会者及0人)

協力会員 登録者数 24人(入会者0人 退会者0人)

### (8)社会福祉法人の社会貢献活動を広げるための事業推進

#### ①かま福祉ネットワーク委員会加入法人 14法人 22施設

- ・嘉穂郡社会福祉協会(嘉穂学園、かほの森、松寿園) ・愛光会(清浄学園) ・嘉穂福祉会(三愛園、三光園) ・稲築福祉会(誠心園)
- ・翼会(つばさ学園) ・恵寿会(山田学園) ・嘉穂の里(さくら学園、第2さくら学園) ・稲穂会(稲穂園、第二稲穂園)
- ・内野会(シルバーケア嘉穂) ・筑豊会(筑豊園、うすいの里) ・山田福祉会(たちばな苑)
- ・ひまわり会(ひまわり園、ほ乃ほの園、ユニットひまわり) ・山田慈恵会(ケアハウスやまだきしろ) ・嘉麻市社会福祉協議会

#### ②かま福祉ネットワーク委員会の開催

- ・第1回 開催年月日 令和3年3月9日(火) 参加者数 16法人 21施設 26人(会場参加者13名、リモート参加者13名)  
内容/セブンイレブンの商品寄贈、令和3年度の会費及び委員会、役員選任、嘉麻市社会福祉協議会の理事推薦、要配慮者個別計画について

#### ③かま福祉ネットワーク委員会役員会の開催

- ・開催年月日 令和3年3月30日(火) 参加者数 6名  
内容/Sさんの緊急支援、令和3年度役員について

#### ④会費の拠出 かま福祉ネットワーク委員会に加入している12法人から85,000円の会費を拠出してもらった。

#### ⑤かまフワ相談員との連携 市内の社会福祉法人に、ワンポイントジョブの協力を依頼した。

#### ⑥ふくおかライフレスキュー事業嘉麻市部会の開催

- ・第1回 開催年月日 令和3年3月9日(火) 参加者数 16法人 21施設 26人(会場参加者13名、リモート参加者13名)  
内容/ふくおかライフレスキュー事業、Sさんの支援について

#### ⑦ふくおかライフレスキュー事業による支援

- ・生活に困窮した状態で相談につながった10件の生活を立て直すため、延べ40回の現物支給による支援を行なった。食材等の購入費や滞納電気代の支払いに要する費用は本会で一旦立て替えた後、福岡県社協から戻される仕組みとなっている。現物支給に伴う費用は277,284円となった。

### (9)広報活動の推進

#### ①広報紙「えがお」の発行 発行回数4回(No162~No165) 発行部数3,000部/1回(フルカラー)

嘉麻市役所や図書館、医療機関やスーパーなど15か所に置いてもらったほか、行政区長や福祉推進員の協力が得られた16行政区に全戸配布した。

#### ②ホームページでの情報発信 アクセス数4,136件 更新回数14回

#### ③ブログでの情報発信 ブログで、社協や地域の情報を353回更新した。

#### ④SNSを使った情報発信 Facebookで、社協や地域の情報を353回更新した。いいね!346件

### (10)地域の交流拠点寄ってこハウスの運営事業

#### ①ハウス敷地内及び駐車場の草刈り 令和元年5月21日(火)、7月31日(水)、11月6日(水)

#### ②一時宿泊利用

- ・令和2年4月1日(水)~4月30日(木) 延べ30日利用 単身 親が自宅を売却したため住む家がなくなり、車中泊をしている。仕事はあるが勤務が不安定で収入が少ないとの相談で、令和2年1月17日から継続して利用した。
- ・令和2年6月15日(月)~7月3日(金) 延べ19日利用 単身 刑期を終え出所したが、住まいがない。持病もあり、すぐに仕事ができる状況ではないため居住実態をつくり、生活保護の申請を行ない、新たな住まいに転居した。
- ・令和2年12月18日(金)~令和2年12月21日(月) 延べ4日 親子2人 保護課から、家賃を滞納したため住まいがなくなり、知人宅を転々としていたが、以前住んでいたことから嘉麻市に戻ってきた。持ち合わせがなく、生活保護の申請を希望しているが、住まいがないため申請できないとの相談。生活保護が決定するまでの間利用し、新たな住まいに転居した。

### (11)おしゃべりサロンの開催

- ・第1回 開催年月日/令和2年11月21日(土) 参加者7名 内容/プラントハンガーづくりをしながら、おしゃべりを楽しんだ。

## (12)在宅介護者支援事業

### ①在宅介護者の集い

定例会の開催 5回 延べ参加者数 32人 (4~8月、2月は中止)

### ②認知症家族の集い

定例会の開催 5回 延べ参加者数 21人 (4~6月、8月、1~3月は中止)

## (13)空き家管理住まいるサービスの推進

### ①基本サービスの提供

相談件数 1件 (稲築地区 1件 碓井地区 0件 山田地区 0件 嘉穂地区 0件)

管理家屋 8軒 (稲築地区 5軒 碓井地区 2軒 山田地区 1軒)

基本サービス提供回数 94回 (稲築地区 58回 碓井地区 24回 山田地区 12回)

有事後の巡回 32回 (稲築地区 20回 碓井地区 8回 山田地区 4回)

基本サービス提供時間 141時間 (稲築地区 87時間 碓井地区 36時間 山田地区 18時間)

### ②オプションサービスの提供

オプションサービス提供回数 12回 (草刈り 6回 草取り 6回)

オプションサービス提供時間 57時間 30分 (草刈り 24時間 草取り 33時間 30分)

## (14)共同募金運動への協力

### ①街頭募金への協力

・募金ボランティアの募集

福岡県共同募金嘉麻市支会が市内スーパー等の店頭で実施した街頭募金においては、新型コロナウイルスの影響で、募金ボランティアの募集がで  
きなかったため、職員のみで実施した。

### ②戸別募金への協力

・募金用途についての啓発

福岡県共同募金会嘉麻市支会と連携して、共同募金の配分の流れや使途状況をまとめたチラシを作成した。

(このチラシは、嘉麻市支会が各地区行政区長会の協力を得て、全戸に配布した)

### ③職域募金への協力

・福岡県共同募金会嘉麻市支会と連携して職場等へ募金を呼びかけ、52か所から協力があつた。

### ④法人募金への協力

・福岡県共同募金会嘉麻市支会と連携して企業等へ募金を呼びかけ、192か所から協力があつた。

# 地域福祉・在宅福祉推進部門 総合相談・地域づくり推進係

## 【かま権利擁護センター】 事業報告

### 1. 総括

今年度、かま権利擁護センターで受けた相談は3,969件（前年比268件増）でした。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、施設や病院で生活する方々との面会が禁止され、職員を介してしか状況や意向を確認できず、もどかしい日々が続きました。

日常生活自立支援事業（以下「日常事業」という。）については、利用者数は35人（前年比3人増）となりました。そのうち、新規相談は18件で、加齢により金融機関に行くことができなくなり、古くからの付き合いがある隣近所や友人に、金銭管理を手伝ってもらっていたが、判断能力が低下し、不安を感じるようになったとの相談が増えています。また、本会の独自事業である地域福祉権利擁護事業（以下「地権事業」という。）は、判断能力はあるけれども、病気やけが等の理由で医療費や光熱水費等の支払いができないなど、日常生活に支障のある方を支援するもので、利用者は18人（前年比2件減）となりました。そのうち新規利用者は4件で、全てかま自立相談支援センターからつながったもので、収支バランスを整えるために、金銭管理をするようになりました。成年後見制度の利用支援については、日常事業を利用して5人の方が成年後見制度の申立に至り、うち3件は本会で受任となったため、受任件数は10件（法人後見4件 保佐人5件 未成年後見1件）となりました。

認知症高齢者の増加と共に、権利擁護支援が必要な方は増えていますが、その中には、親族はいても関係性が希薄な方も多く、そうなる市長申し立てではできないため、受任する後見人等は後見活動の報酬を受け取ることができない場合もあり、本会が受任する10人のなかにもそのような方も出てきています。

また、センターで支援する方の中には、施設や病院での生活が長期化し、自宅の老朽化が進んで屋根や壁が壊れ、大雨や台風時にはさらに危険な状況になるため心配が大きくなる方、癌や腎不全により主治医から治療について判断を迫られるも認知症等によりその判断が難しい方もおられます。後見人等は医療同意ができないことになっていますが、主治医から終末期のケアについて判断を迫られることもあり、金銭を届けたり光熱水費等の支払いを担うだけでなく、その人が望む生活や人生の細部にわたった配慮、その方の価値観を尊重しながら自己決定ができるように支援していく、いわゆる自己決定支援の大切さを感じています。

近年は、家族関係が希薄化した方や身寄りがいない方も多く、亡くなった後のことを心配する相談も増えています。今年度は、被保佐人が亡くなれば、相続人調査を含む死後事務手続きを行いました。近しい身寄りがいないことから、生前に聞いていた意向の通りに、葬儀や納骨についても支援しました。まさに、人生に寄り添うということはどういうことなのかを考えさせられる実践ができたのではないかと思います。

また、センターでは、専門職とのつながりだけでなく、市民後見人養成講座を受講した9名の市民支援員と共に、日常事業や地権事業、法人後見活動に取り組みました。新年度は、飯塚市・嘉麻市・桂川町エリアで、福岡県社会福祉協議会が市民後見人養成講座を開講することになっているため、新たに支援の輪に加わってもらえる方々を増やしていけるよう、周知していきたいと考えています。

### 2. 事業実績

(1)相談件数 3,969件（男性1,723件 女性2,246件）  
（来所78件、訪問749件、電話3,105件、転送電話37件、メール0件）

#### (2)日常生活自立支援事業の推進

##### ①福祉サービスの利用援助及び日常的金銭管理サービスの実施

新規契約件数 18件（稲築地区9件 碓井地区4件 山田地区2件 嘉穂地区3件）  
利用者数 35人（稲築地区12人 碓井地区13人 山田地区7人 嘉穂地区3人）  
支援回数 693回（稲築地区198回 碓井地区284回 山田地区186回 嘉穂地区25回）  
支援時間 834時間10分（稲築地区271時間10分 碓井地区336時間15分 山田地区195時間15分 嘉穂地区31時間30分）

##### ②書類等預かりサービスの実施

新規契約件数 8件（稲築地区3件 碓井地区3件 山田地区1件 嘉穂地区1件）  
利用者数 6人（稲築地区3人 碓井地区2人 山田地区1人 嘉穂地区0人）  
保管物品 7点 普通預金通帳4冊 定期性総合口座1冊 定期定期預金証書1冊 簡易生命保険保険証書1通  
保管場所 福岡銀行稲築支店貸金庫

#### (3)本会独自の地域福祉権利擁護事業の推進及び権利擁護支援の実施

##### ①金銭管理・生活支援サービスの実施

新規契約件数 4件（稲築地区2件 碓井地区0件 山田地区1件 嘉穂地区1件）  
利用者数 18人（稲築地区6人 碓井地区3人 山田地区6人 嘉穂地区3人）  
支援回数 383回（稲築地区146回 碓井地区85回 山田地区82回 嘉穂地区70回）  
支援時間 486時間10分（稲築地区190時間30分 碓井地区99時間55分 山田地区76時間30分 嘉穂地区119時間15分）

##### ②財産保管サービスの実施

新規契約件数 0件（稲築地区0件 碓井地区0件 山田地区0件 嘉穂地区0件 市外0件）  
利用者数 2人（稲築地区1人 碓井地区0人 山田地区1人 嘉穂地区0人 市外0人）  
保管物品 6点 普通預金通帳2冊 定期性総合口座通帳3冊 貯蓄総合通帳1冊  
保管場所 福岡銀行稲築支店貸金庫

##### ③支援員会議の開催 11回 延べ参加者数 86人

④地域福祉権利擁護事業 運営審議会委員の改選

任期は、令和2年6月1日から令和4年5月31日まで

選出区分	氏名	所属団体
学識経験者	森高 清一	NPO 法人権利擁護支援センターふくおかネット 令和2年12月18日まで
法律関係者	松尾 朋	松尾・足立法律事務所
医療関係者	定村 信吾	社会保険稲築病院
福祉関係者	横山 利恵子	嘉麻市手をつなぐ育成会
行政関係者	上村 美智子	嘉麻市高齢者相談支援センター
行政関係者	中野 聡子	嘉麻市社会福祉課（障がい者福祉係）

(4) その他権利擁護支援の実施

①権利擁護支援 運営委員会委員の改選

任期は、令和2年6月1日から令和4年5月31日まで

選出区分	氏名	所属団体
学識経験者	森高 清一	NPO 法人権利擁護支援センターふくおかネット 令和2年12月18日まで
法律関係者	松尾 朋	松尾・足立法律事務所
医療関係者	定村 信吾	社会保険稲築病院
福祉関係者	横山 利恵子	嘉麻市手をつなぐ育成会
行政関係者	上村 美智子	嘉麻市高齢者相談支援センター
行政関係者	中野 聡子	嘉麻市社会福祉課（障がい者福祉係）
福祉関係者	藤嶋 勇治	NPO 法人嘉飯山ネット BASARA
金融機関関係者	松井 綾二	福岡嘉穂農業協同組合 山田支所 令和3年3月19日まで
金融機関関係者	石川 善和	福岡嘉穂農業協同組合 山田支所 令和3年3月26日から

②権利擁護支援 運営委員会の開催

開催年月日	出席者数	場所	協議内容
令和2年5月28日（木）	7人	山田ふれあいハウス 会議室	法人後見受任者の定期監査報告、日常生活自立支援事業及び地域福祉権利擁護事業の利用者状況
令和2年7月29日（水）	6人	山田ふれあいハウス 会議室	委員長・副委員長の互選、法人後見受任者の定期監査報告、日常生活自立支援事業及び地域福祉権利擁護事業の利用者状況、日常生活自立支援事業を利用する方（2件）の支援について
令和2年10月26日（月）	8人	山田ふれあいハウス 会議室	法人後見受任者の定期監査報告、日常生活自立支援事業及び地域福祉権利擁護事業の利用者状況、前回運営委員会で対応を協議した YHさんの成年後見申立てについて ワンポイント研修「相続法の改正点」 講師：福岡弁護士会筑豊部会 弁護士 松尾朋さん
令和3年1月28日（木）	7人	山田ふれあいハウス 会議室	法人後見受任者の定期監査報告、日常生活自立支援事業及び地域福祉権利擁護事業の利用者状況、通帳の紛失を繰り返す Aさんのアプローチについて

③遺言公正証書作成支援事業の実施 利用件数0件

④生活再建に向けた諸費立替事情の実施 利用件数0件

⑤エンディングノートの推進 利用件数0件

(5) 法人後見等の実施及び積極的受任

①財産管理、身上監護の実施

受任者数/10人 [後見4人 保佐5人 未成年後見1人]

活動回数/198回 [後見83回 保佐90回 未成年後見25回]

活動時間/261時間10分 [後見99時間50分 保佐124時間50分 未成年後見36時間30分]

②保管物品 13点

キャッシュカード4枚 国民年金・厚生年金保険年金証書2枚 年金手帳1冊

不動産権利証書（登記済み権利書）1枚 実印1本 マイナンバー通知カード3枚 マイナンバーカード1枚

保管場所 福岡銀行稲築支店貸金庫

③後見等事務報告書の提出 10人の事務報告書を家庭裁判所飯塚支部に提出した。

④報酬付与の申し立て 7人の報酬付与の申し立てを行った。

⑤定期監査の実施

開催年月日	監査委員	場 所	監査内容
令和2年6月11日(火)	2人	山田ふれあいハウス 会議室	法人後見人等として受任している8人の通帳残高、出納簿、領収書、 保管物品、切手の残枚数、後見等の活動状況について監査を行った。 (監査期間 令和2年3月1日～令和2年5月31日)
令和2年9月25日(水)	2人	山田ふれあいハウス 会議室	法人後見人等として受任している9人の通帳残高、出納簿、領収書、 保管物品、切手の残枚数、後見等の活動状況について監査を行った。 (監査期間 令和2年6月1日～令和2年8月31日)
令和2年12月17日(木)	2人	山田ふれあいハウス 会議室	法人後見人等として受任している9人の通帳残高、出納簿、領収書、 保管物品、切手の残枚数、後見等の活動状況について監査を行った。 (監査期間 令和2年9月1日～令和2年11月30日)
令和3年3月19日(金)	2人	山田ふれあいハウス 会議室	法人後見人等として受任している10人の通帳残高、出納簿、領収書、 保管物品、切手の残枚数、後見等の活動状況について監査を行った。 (監査期間 令和2年12月1日～令和3年2月28日)

(6)成年後見制度の啓発

①相談及び利用支援

- ・日常生活自立支援事業利用者の成年後見制度申し立て支援を行った。
- ・市民の方から電話で、任意後見人の申し立てについて問い合わせがあった。
- ・介護支援専門員から、成年後見制度の申立について相談を受けた。

# 地域福祉・在宅福祉推進部門 総合相談・地域づくり推進係

## 【かま自立相談支援センター】 事業報告

### 1. 総括

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大及びその防止のために打ち出された施策（学校の一斉休校や緊急事態宣言の発出等）によって、社会状況が一変してしまった1年と言っても過言ではありません。コロナの感染防止のために新しい生活様式（三密の防止・マスク着用、ソーシャルディスタンスを保つなど）が奨励され、また、経済活動も営業時間の短縮や移動の制限等によって、特に飲食や旅行業界は大きな打撃を受けたことで、これまで生活困窮とは無縁であった方々も生活に窮することとなりました。当然、コロナ禍以前からギリギリの生活をしてきた方々（一人親世帯など）への影響は計り知れないものがあり、その状況は今も続いています。言い換えれば、社会の中には、クッション（家族や親族、友人・知人の支え）にあたる部分がなくなっている方々がたくさんおられることで、少しの変化ですぐさま困窮状態に陥ってしまうという、コロナ禍前からの社会の課題や現実が表面化したとも言えると思います。このような事態の中で急場を支えたのは、雇用調整助成金や持続化給付金、生活福祉資金の特例貸付などの「現金給付・貸付及び現物給付」であり、かま自立相談支援センター（以下「センター」という。）は、生活福祉資金貸付事業を所掌しているため、緊急小口資金や総合支援資金の特例貸付の相談と事務手続きに忙殺されました。この特例貸付は、コロナ禍の収束が見通せない中で、令和3年6月末まで申請期間が延長され、かつ状況の改善が見込めなければ最大200万円の借入れが出来ます。償還についても借入れ1年後からとなっていたものが、資金種類ごとに一括免除（規定された年度の住民税が非課税など）が導入されることとなり、現場は混乱しているというのが正直なところです。総合支援資金の延長貸付及び再貸付を希望する場合には、生活困窮の自立相談支援センターを介して利用することが要件化された背景には、「現金給付や貸付だけでは生活の立て直しは難しい…」ため、困窮に至った本質的な課題はどこにあるのか、返済等を含めた将来的な金銭見通しはあるのかなどをアセスメントし、その課題解決や実現したい生活設計（目標）に向かって「一緒に歩む」という、寄り添い型（人が人を支える）の支援が合わさっていかねば、本当の自立には繋がらないという考えがあり、まさに自立相談支援センターがクッションの役割を担うことが期待され、その力量が問われた1年となりました。

このような状況の中で、センターで受けた相談は4,018件（前年比1,951件増）でした。この内159件（前年比45件増）が生活困窮にかかわる新規相談で、年間をとおして1,246回の相談対応とアプローチをしています。新規相談159件の内、21件（13.2%）が絶対的貧困状態（住むところ・食べるものなど生きていくために必要なものが得られない状態）で相談につながり、残り138件（86.8%）が相対的貧困状態（経済的困窮などにより、一般の人が実現できる様々なことができない状態）にありました。そのときの困窮状態の詳細をみると、ほぼすべての方が複数（331件）の困りごとを抱えていて、平均すると2.08件となりました。最も多かったのが「収入・生活費」147件（44.4%）で、「仕事探し」35件（10.6%）、「病気や障がい」29件（8.8%）、「税金や公共料金の支払い」25件（7.6%）、「債務」24件（7.6%）、「食べるものがない」17件（5.1%）、「住まい」15件（4.5%）、「家賃やローンの支払い」15件（4.5%）と続いています。さらに詳細を見てみると、「収入・生活費」においては、離婚した夫から受け取っていた養育費が滞り生活に窮するようになった相談があり、直接的な影響ではないものの、背景にはコロナ禍による減収から派生した相談が5件ありました。

「税金や公共料金の支払い」においては、従来の分納相談にとどまらず、国や福岡県、嘉麻市が行うコロナ禍による緊急施策の最新情報の収集に努め、国民健康保険税や水道料等の支払いに困っている方を適切な窓口へつなぎ、免除や猶予手続きができたケースもありました。「食べるものがない」においては、フードバンク事業から食材を提供して急場をしのぐだけではなく、給料や年金、児童扶養手当など、収入の見通しがある方にはライフレスキュー事業につなげ、生鮮食品やガソリン代等を現物支給することができるようになったため、支援の幅が広がりました。

**自立支援プランを協議する支援調整会議**は11回開催し、家計改善支援プランも含めて延べ50件について協議し、コアメンバー（保護課、ハローワーク、センター）とプラン内容に応じて加わってもらった機関を含めて、延べ92人が出席しています。自立支援プランの協議においては、問題の複雑さを物語るように、はじめて協議に加わっていただいた機関も増えています。

**就労支援員による支援については**、ハローワークの求人情報のほか、フリーペーパーなどの情報を延べ120回提供し、14人が一般就労につながりました。生活福祉資金特例貸付総合支援資金の延長貸付及び再貸付では、償還の見通しを立てることが要件となっており、増収を目指すための就労支援は必須でしたが、医療や福祉を除くほとんどの職種で、有効求人倍率の低下が続き、相談者が希望する条件や職種になかなか結びつかないという厳しい状況となりました。また、小中学校の休校に伴い、仕事に行くことすらできないひとり親世帯や高校を卒業し就職したものの、採用された会社が休業状態となり、一度も出勤しないまま生活福祉資金の特例貸付を利用せざるを得ない方もおられました。

**家計改善支援事業については**、25件（前年比8件増）の相談がありました。その時の困りごとは延べ52件で、詳細をみると「収入や生活費」23件、「債務の返済」13件、「税金や公共料金の支払い」6件、「家賃やローンの支払い」6件、その他4件となりました。継続の方も含めた家計改善支援の延べ回数は284回（前年16件増）となりました。プランを作成した方のうち、今年度も3名が本会の地域福祉権利擁護事業を利用して金銭管理をするようになり、この事業の介在が、本人の生活の立て直しにつながっていると感じています。また、特例貸付（総合支援資金）の申込にあたってはセンターの利用が要件付けられたため、普段は困窮と縁遠い世帯もコロナ禍の影響で、相談に来所されたと感じています。あくまでも貸付は一時的なものであって、根本的な解決には至らないという前提に立って、家計管理の重要性について理解してもらうことが難しく、今後の課題と想っています。債務整理につながった3名のうち1名は、途中でたびたび意向の変更があり、その都度、本人に寄り添った支援の難しさを感じたほか、自己破産手続きに必要な家計表の作成についてもサポートしました。

**生活福祉資金貸付事業の特例貸付については**、延べ相談件数が1,878件で、その内申し込みに至った実人数は313人、貸付に至ったのは310人で、総額は156,169,000円となりました。貸付の内訳は、緊急小口資金が231件、34,050,000円、総合支援資金が253件、122,119,000円となりました。さらに詳細をみると、特例貸付を利用した方々の年齢は10歳代から80歳代以上と幅広く、世帯分類は一般世帯が最も多く、職業分類は、建設業、無職、飲食業の順となりました。また、借入を希望した理由は収入の減少が最も多く、休業、就職活動中と続きました。

**通常の貸付については**、延べ相談数が373件（前年比262件減）で、内訳は新規相談が67件（前年比40件減）、継続相談が306件（前年比222件減）となりました。貸付に至ったのは20件（前年比15件減）、貸付総額は5,474,000円（前年比609,000円減）となりました。貸付けた資金の内訳は、教育支援資金8件、緊急小口資金6件、福祉資金4件、総合支援資金2件となりました。

**フードバンク事業については**、生活福祉資金特例貸付が始まったことで、絶対的困窮状態に陥る前に相談につながった方が多かったことで、食材を必要とした方が37人（前年比10人増）と減少し、食品及び物品の協力は延べ24件（前年比2件増）となりました。食品等については、引き続き障がい者支援施設清浄学園、障がい者支援施設さくら学園及び第2さくら学園、特別養護老人ホーム第二種徳園、介護老人保健施設シルバークエア嘉穂か

ら在庫状況に応じて提供があったことで、食品が不足することはありませんでした。

無料職業紹介事業については、コロナ禍の影響で就労支援を必要とする方は増えましたが、フリーペーパー等の情報提供に留まったため、常用求人登録が延べ49件（前年比32件減）、求人登録企業は6社となりました。求職登録に至ったのは4人で、その内1人に紹介状を発行し、採用されました。紹介事業があることで、増収を目指す強みにはなりますが、求人登録企業が少なく、また福祉職に偏っているため、今後は幅広い企業に登録してもらえるよう開拓に努めたいと考えています。

## 2. 事業実績

### (1) 相談受け付け等に関すること

相談件数 4,018件（来所1,029件 訪問323件 電話2,076件 転送電話28件 同行93件 関係機関から400件 メール69件）

#### ① 初回相談

件数159件（来所32件 電話98件 関係機関等から29件）

#### ② 年齢

人数159人（10歳～19歳3人 20歳～29歳14人 30歳～39歳84人 40歳～49歳38人 50歳～59歳23人 60歳～69歳21人 70歳～79歳18人 80歳～89歳1人 不明7人）

#### ③ 性別

人数159人（男性92人 女性66人 不明1人）

#### ④ 相談内容（複数）

相談内容延べ件数331件（病気や健康・障がい29件 収入や生活費147件 仕事探しや就職35件 家賃やローン15件 税金や公共料金25件 債務24件 家族関係・人間関係4件 住まい15件 仕事上のトラブル1件 子育て・介護10件 ひきこもりや不登校3件 食べるものがない17件 その他6件）

#### ⑤ クリーニング結果

スクリーニング件数159件

（他の制度や専門機関につなぐ77件 引き続き支援を継続する35件 情報提供や相談のみで終了39件 プランを策定し継続支援する8件）

#### ※他の制度や専門機関につないだ内訳（詳細内訳 複数）

件数81件 本会事業62件（内訳：生活福祉資金貸付事業52件、住居確保給付金1件、フードバンク事業8件、コミュニティワークセンター1件）、行政4件（保護課4件）、ハローワーク3件、医療機関3件 法曹関係1件 ぷくおかライフレスキュー4件、保険会社1件、70歳現役応援センター1件、他市自立相談支援機関2件

#### ⑥ 自立に向けた働きかけ

継続相談・支援回数 1,246回（来所184回 訪問165回 電話617回 転送電話15回 同行52回 関係機関から149回 メール64回）

#### ⑦ 支援プランの策定状況

自立支援プラン策定件数34件（新規プラン12件 再プラン11件 終了10件 中断1件）

家計改善支援プラン策定件数16件（新規プラン8件 再プラン2件 終了6件）

### (2) 支援調整会議に関すること

#### ① 支援調整会議の開催

回	開催年月日・時間・場所	出席者	協議内容	出席機関・団体
1	令和2年5月27日（水） 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	9人	・自立再プラン案の検討（1件） ・家計再プラン案の検討（1件） ・自立新規プラン案の検討（1件） <その他> ・生活福祉資金特例貸付の相談件数について	保護課及び福祉事務所長 健康課 ハローワーク 福岡県済生会飯塚嘉穂病院 かま自立相談支援センター
2	令和2年6月25日（木） 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	8人	・自立再プラン案の検討（3件） ・自立新規プラン案の検討（3件）	保護課 ハローワーク かま自立相談支援センター
3	令和2年7月27日（月） 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	9人	・自立再プラン案の検討（1件） ・自立新規プラン案の検討（2件） ・家計新規プラン案の検討（2件）	保護課及び福祉事務所長 ハローワーク 医療法人陽山会丸野クリニック かま権利擁護センター かま自立相談支援センター
4	令和2年8月27日（木） 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	8人	・自立新規プラン案の検討（1件） ・自立再プラン案の検討（1件）	保護課及び福祉事務所長 ハローワーク 子育て支援課 かま自立相談支援センター
5	令和2年9月28日（月） 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	7人	・自立再プラン案の検討（2件）	保護課及び福祉事務所長 ハローワーク かま自立相談支援センター
6	令和2年10月29日（木） 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	10人	・自立再プラン案の検討（3件） ・家計再プラン案の検討（2件）	保護課及び福祉事務所長 ハローワーク 子育て支援課 かま権利擁護センター かま自立相談支援センター

7	令和2年11月30日(月) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	9人	・自立再プラン案の検討(2件) ・自立新規プラン案の検討(1件) ・家計新規プラン案の検討(2件) <その他> ・令和元年度 かま自立相談支援センター 事業報告について	保護課及び福祉事務所長 ハローワーク 障がい者基幹相談支援センター 地域活動支援センターizumi かま自立相談支援センター
8	令和2年12月22日(火) 午前10時～ 山田ふれあいハウス会議室	6人	・自立再プラン案の検討(1件) ・自立新規プラン案の検討(1件) ・家計新規プラン案の検討(1件)	保護課 ハローワーク かま自立相談支援センター
9	令和3年1月29日(金) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	8人	・自立新規プラン(案)の検討(2件) ・家計新規プラン(案)の検討(1件) ・自立再プラン(案)の検討(1件) ・家計再プラン(案)の検討(1件)	保護課 ハローワーク 障がい者基幹相談支援センター かま自立相談支援センター
10	令和3年2月25日(木) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	10人	・自立再プラン(案)の検討(3件) ・家計再プラン(案)の検討(2件) ・自立新規プラン(案)の検討(1件) ・家計新規プラン(案)の検討(1件)	保護課及び福祉事務所長 ハローワーク 地域活動支援センターizumi かま自立相談支援センター
11	令和3年3月30日(火) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	8人	・自立再プラン(案)の検討(2件) ・家計再プラン(案)の検討(1件) ・自立新規プラン(案)の検討(2件) ・家計新規プラン(案)の検討(1件)	保護課及び福祉事務所長 ハローワーク もみの木相談支援センター かま自立相談支援センター

※協議プラン数49件(自立再プラン20件 家計再プラン7件 自立新規プラン14件 家計新規プラン8件)

### (3) 就労支援に関すること

#### ① 支援状況

・情報提供120回 一般就労につながった件数14件

【就労先】 済生会飯塚嘉徳病院 ユアーズエバー 合同会社心結 日産車体エンジニアリング(株) フコク生命 材本建設株式会社 嘉麻スタイル ふじや食品 ハローデイ シニアコミュニティつばき 良創夢 CROSSEED ラッキーダクシー 福岡ワークス

### (4) 家計改善支援事業に関すること

#### ① 初回相談

件数25件(来所16件 訪問9件 電話0件 関係機関からの紹介0件)

#### ② 年齢

人数25人(20歳～29歳0人 30歳～39歳9人 40歳～49歳4人 50歳～59歳2人 60歳～69歳8人 70歳～79歳2人)

#### ③ 性別

人数25人(男性10人 女性15人)

#### ④ 相談内容(複数)

相談内容延べ件数52件(収入や生活費23件 債務13件 税金や公共料金6件 家賃やローン6件 その他4件(転居費1件、医療費1件 子どもの学費2件)

#### ⑤ スクリーニング結果

スクリーニング件数25件(引き続き支援を継続する8件 相談のみで終了5件 他の制度や専門機関につなぐ7件 プランを策定し継続支援する5件)

#### ⑥ 自立に向けた働きかけ

継続相談・支援回数284回(来所36回 訪問41回 電話83回 同行34回 関係機関から90回)

### (5) 住居確保給付金の窓口業務に関すること

#### ① 相談状況

・相談件数 53件(新規相談19件 継続相談34件)  
・相談の形態 53件(来所6件 訪問1件 電話36件 関係機関から10件)

#### ② 申請状況

申請件数0件

### (6) 生活福祉貸付事業に関すること

#### ア. 特別貸付

##### ① 基本事項

・相談件数 1,878件(新規相談435件 継続相談1,443件)  
・貸付実人数 313人(稲築西90人 稲築東70人 確井68人 山田43人 嘉穂42人)  
(その内、不承認2人(緊急小口資金)、取下げ1人(緊急小口資金))  
・相談対応 1,878回(来所697回 訪問31回 電話1,061回 転送電話11回 同行3回 関係機関から70回 メール5回)

・貸付状況

資金種類	延べ件数 (内、2回に分けて申込) (件)	貸付総額 (円)
緊急小口資金	231 (11)	34,050,000
総合支援資金	253	122,119,000
合計	484	156,169,000

・貸付の形態

形態区分	延べ件数 (件)	貸付総額 (円)
緊急小口資金 1回のみ	102	15,060,000
緊急小口資金 2回のみ	6	1,200,000
緊急小口資金+総合支援資金 (初回) のみ	81	52,750,000
緊急小口資金+総合支援資金 (初回) +総合支援資金 (延長)	25	26,823,000
緊急小口資金+総合支援資金 (初回) +総合支援資金 (延長) +総合支援資金 (再貸付)	6	9,856,000
総合支援資金 (初回) のみ	76	38,175,000
総合支援資金+総合支援資金 (延長)	12	10,505,000
総合支援資金 (初回) +総合支援資金 (延長) +総合支援資金 (再貸付)	1	1,380,000
総合支援資金 (延長) のみ	1	420,000
合計	310	156,169,000

②詳細事項

※延べ件数は、不承認2件、取り下げ1件を除いているため310件となっている。

性別		年齢区分								世帯分類				
男	女	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	一般世帯	単身世帯	高齢夫婦	母子世帯	父子世帯
189	124	1	29	86	91	49	42	13	2	171	87	14	33	8

  

職業分類															
建設関係	無職	飲食業	製造業	販売業	移送・運送業	事務	医療・福祉	遊行業	理美容関係	整備	調理	保険関係	広告業	その他	
62	42	41	37	32	27	13	12	8	8	6	4	4	3	22	

※職業分類については、副業を含むため、合計321件となっている。

借入を希望した理由 (困窮状態)	件数
収入が減少した	152
休業中	62
就職活動中	26
解雇・退職	20
出勤停止	18
家族の減収	13
初任給・雇用保険までのつなぎ	8
自粛・感染不安	7
退職子どもの休校	6
内定取消	1
合計	313

イ. 通常貸付

①基本事項

- ・相談件数 373件 (新規相談 67件 継続相談 306件) ・貸付件数 20件 貸付総額 5,474,000円
- ・相談の形態 373件 (来所 58件 訪問 76件 電話 181件 転送電話 2件 同行 4件 関係機関から 52件)
- ・貸付資金種類 (詳細内訳)

資金種別	区分	貸付の詳細	貸付件数	貸付合計額
福祉資金	福祉費	被保護者の生活必需品の購入 (エアコン)	2件	148,000円
		被保護者の生活必需品の購入 (冷蔵庫・洗濯機・掃除機)	2件	106,000円
小計			4件	254,000円
教育支援資金	教育支援費	看護専攻科 1件	1件	959,000円
	就学支度費	高等学校 4件	4件	517,000円
	教育支援費+就学支度費	専門学校 2件 大学 1件	3件	2,654,000円
小計			8件	4,130,000円
緊急小口資金		公的給付 (生活保護) までのつなぎ	3件	80,000円
		初任給が支給されるまでのつなぎ	2件	200,000円
		年金の入ったポーチを紛失したことによる生活費	1件	60,000円
小計			6件	340,000円
総合支援資金	生活支援費	請負仕事が無くなり、コロナ禍で再就職できず生活が苦しい	1件	450,000円
	生活支援費 (延長)	今も仕事を探しているが、条件も含めてなかなか決まらない	1件	300,000円
小計			2件	750,000円
合計			20件	5,474,000円

② 滞納世帯への働きかけ

・滞納状態にある借受人及び連帯借受人に対し、センターの存在を知らせて相談につなげるため、5月、8月、11月、2月に償還金の払込票とともにセンターの案内チラシを郵送した。結果、年間を通して1件の連絡があった。

(7) フードバンク事業に関すること

① 食料を必要とした方々の生活状況

提供年月日	受取者	困窮状態等の概要	提供した食品・物品の内訳
令和2年4月9日(木)	女性	2月中旬に転職したが、3月から微熱が続き出勤停止となった。3月は10日間、4月は1日しか出勤できていない。4月15日に給料が約4万円であるが、所持金ほとんどなく、食材と子どもの紙おむつが不足する。	カップ麺9個 子ども用紙おむつ(1)1袋
令和2年4月13日(月)	男性	4月7日に生活保護を申請した。単発の仕事を探して収入を得たいが仕事がなく、所持金が尽きてしまった。住まいが決まるまで寄ってこハウスを利用することとなっているが、食べる物が無い。	白米2kg カップ麺4個 袋麺2袋 レトルト食品7箱 缶詰6缶 味噌汁1袋 マヨネーズ1本 めんつゆ1本
令和2年4月20日(月)	男性	2月末に会社を退職し、貯蓄を切り崩して生活してきたが底を尽き、生活保護を申請した。緊急小口資金の借入申込みをしたが、決定までの間食べる物が無い。	白米3kg カップ麺18個 レトルト食品3箱 ふりかけ2袋 味噌汁1袋
令和2年4月27日(月)	男性	4月に子ども2人を引き取るため団地に引っ越してきた。入居時に滞納していた税金等を支払ったため、お金が無くなった。任意整理を考えているため、生活福祉資金の貸付には至っていない。4月28日からライフレスキュー事業で支援することとなった。	白米1kg レトルト食品7箱 缶詰3缶 冷蔵庫貸出し
令和2年5月19日(火)	女性	工場で働いていた夫がコロナ禍の影響で仕事が減り、退職した。5月の給料は8万円しかなく、支払いを優先したため生活費が無くなり、今日生活保護を申請した。決定まで2週間程度かかると言われたが、食べる物も子どもの紙おむつも無い。	白米5kg カップ麺6個 レトルト食品10箱 缶詰9缶 味噌汁2袋 ソーメン1箱 ダン類10個 調味料5個 子ども用紙おむつ2袋 お尻ふき1袋
令和2年6月15日(月)	男性	今日、福岡刑務所を出所してきた。明日、生活保護を申請し住まいを探すことになっているが、それまでの間、住む所がない。寄ってこハウスを利用することとなった。	缶詰2缶 レトルト食品(カレー)4袋 バックごはん5食入り お茶1箱
令和2年6月15日(月)	女性	福岡市で母親と2人で生活保護を受けていたが、母親と折り合いが悪くなり、知人を頼って嘉麻市内のアパートに転入した。6月10日に生活保護を申請したが、お金も食べる物も無い。	レトルト食品2箱 ふりかけ2袋 缶詰6缶 味噌汁1袋 バックごはん5食入り・3食入り カセットボンベ3本 カセットコンロ1台
令和2年7月15日(水)	男性	平成31年4月に体調を崩して退職した。貯金を崩しながら生活してきた。国民健康保険税が払えていないため病院に行けず、高血圧や通風の治療ができていない。7月8日に生活保護を申請したが、2週間程度で決定すると言われているが、所持金も食べる物も無い。	白米2kg カップ麺6個 袋麺1袋 レトルト食品2箱 味噌汁2袋 めんつゆ1本 醤油1本 カフェラテ1カップ お茶1箱
令和2年7月15日(水)	男性	7月13日に退職し、今日、高年齢求職者給付金の手続きをした。7月末には振り込まれる予定であるが、現在、所持金も食べる物も無い。	白米5kg 袋麺1袋 レトルト食品6箱 ふりかけ1袋 缶詰4缶 味噌汁1袋 サラダ油1本 醤油1本 だしの素1箱 めんつゆ1本 カセットボンベ3本
令和2年7月16日(木)	男性	派遣会社の営業職で働いているが、コロナ禍の影響で休業状態が続いている。生活福祉資金特別貸付の緊急小口と総合支援資金は借りている。8月から仕事は再開する予定で、8月14日には高齢年金も入る。それまでの間は、ライフレスキュー事業で支援する予定であるが、今お金も食べる物も無い。	白米5kg カップ麺4個 レトルト食品4箱 缶詰4缶 味噌汁1袋 鍋キューブ1袋 ごま油1本 醤油1本
令和2年7月20日(月)	女性	5月末で退職し、今は雇用保険の給付制限を受けている。元夫からの養育費と児童扶養手当等で生活していたが、7月の養育費が受け取れず生活が苦しい。8月11日にはひとり親臨時特別給付金が入るため、その間の生活を支える。また、7月22日からはライフレスキュー事業を利用する予定。	白米5kg カップ麺5個 袋麺1袋 レトルト食品5箱 めんつゆ1本 醤油1本 カフェラテ1カップ
令和2年7月20日(月)	男性	7月12日に市内のドラッグストアで年金の入ったポーチを紛失した。8月の年金まで生活できない。生活福祉資金の緊急小口資金を申し込んだが、決定までの間は、ライフレスキュー事業で凌ぐ予定。	白米5kg カップ麺6個 袋麺1袋 レトルト食品4箱 ふりかけ1袋 缶詰6缶 味噌汁1袋 めんつゆ1本 醤油1本 コーヒー1カップ カセットボンベ3缶

令和2年8月4日(火)	男性 ①	6月に母親が家を出て、父親は病院に入院しており、現在は一人で暮らしている。6月に食品会社に採用されたが腰痛で離職した。その後は特別定額給付金と畑の野菜を食べてなんとか生活してきた。所持金が底を尽き、基幹相談支援センターの職員に連絡し、8月4日に生活保護を申請した。今後、飯塚記念病院を受診予定。	白米5kg カップ麺6個 レトルト食品10箱 ふりかけ1袋 缶詰5缶 そうめん2袋 めんつゆ1本
令和2年8月7日(金)	男性	7月に3日間草刈りの仕事をしたが、熱中症の症状が出て、仕事に行けなくなった、電気、ガスは止められ、電話もない。8月6日に生活保護を申請した。所持金もなく、2~3日何も食べていない。仕事には応募しているが、返事待ちの状態。	白米2kg レトルト食品9箱 ふりかけ1袋 缶詰6缶 めんつゆ1本 そうめん2個 ふりかけ1個
令和2年8月19日(水)	男性 ②	8月3日に生活保護を申請し、7日に現地調査があった。8月10日に近所に住む姉とトラブルとなり、病院の紹介状を破棄したため、検診命令が出ているが受診できず、生活保護の決定が延びている。冷蔵庫に食べる物が全く無い状態。	白米2kg レトルト食品6箱 ふりかけ1袋 缶詰9缶 めんつゆ1本 そうめん2個
令和2年8月25日(火)	男性	県外から飯塚市に転入し、アパートを借りて生活する予定であったが、来る途中の夜行バスでお金の入ったカバンを紛失してしまい、アパートを借りることができなかった。知り合いの不動産屋を介して今の家を紹介してもらい入居した。8月24日に生活保護を申請し、結果を待っている。	白米5kg 袋麺1袋 レトルト食品1箱 ふりかけ2袋 缶詰5缶 味噌汁1袋 めんつゆ1本 醤油1本 お茶1箱 ケトル1台 炊飯器1台 電子レンジ1台 洗濯機1台
令和2年8月27日(木)	男性	3月11日に長年勤めていた職場を上司とのトラブルで、退職した。退職後、借りていたアパートを退去し、母親と弟が暮らす住宅に戻ったが、折り合いが悪くなり、知人を介して、アパートに転居した。仕事もなく、病気の治療もできないため、今日生活保護を申請した。	白米5kg カップ麺7個 ふりかけ2袋 缶詰6缶 そうめん1袋 めんつゆ1本 カセットボンベ3本 炊飯器貸し出し
令和2年8月28日(金)	男性	妊娠6カ月の妻と息子の3人暮らし。建設会社で日当1万円でアルバイトをしていたが、22日の大雨で土砂が崩れて作業がストップした。再開の目途が立たず、収入が途切れたため、27日に生活保護を申請した。食べる物がなく、子どもの紙おむつも無い。生活保護の結果が出るまでの間生活できないため、緊急小口資金を申請する予定。	カップ麺6個 袋麺4袋 レトルト食品4箱 ふりかけ2袋 缶詰6缶 味噌汁3袋 めんつゆ1箱 ケチャップ1本 醤油1本 子ども用紙おむつ(ビッグ)1袋 お尻ふき2袋
令和2年9月11日(金)	男性	建設会社を先月退職した。雇用保険の受給資格はなく、ハローワークに行き仕事を探しているが、決まらないため、9月9日に生活保護を申請した。保護決定までの2週間、お米はあるが、その他の食材が無い。	カップ麺3個 袋麺2袋 レトルト食品6箱 ふりかけ1袋 缶詰6缶 味噌汁3袋 ケチャップ1本 めんつゆ1本 七味とうがらし1箱
令和2年9月16日(水)	男性	妻と2人で暮らしている。夫婦ともに療育手帳を持っている。過去に自立相談支援センターで相談を受け、弁護士につないで自己破産手続きをしてもらっている。最近では体調が悪く、医療費がかさみ、9月11日に生活保護を申請した。保護が決まるまでの間、食べる物が無い。	袋麺3袋 レトルト食品12箱 ふりかけ1袋 缶詰4缶 味噌汁1袋 めんつゆ1本
令和2年10月30日(金)	女性 ①	今日、飯塚市から転入した。飯塚市では10月に離婚した夫と生活保護を受けていたため、移管ではなく減員となるため、11月分の保護費の受給までは2週間程かかる。現在は、3人の子とも暮らしているが妊娠5カ月のため就労も難しく、今後の子育てに不安がある。引っ越してすぐなので暖房器具もない。	白米3kg カップ麺7個 袋麺1袋 レトルト食品4箱 ふりかけ1袋 缶詰7缶 味噌汁1袋 のりの佃煮1瓶 めんつゆ1本 出し1袋 炊飯器貸出
令和2年11月13日(金)	女性	障がい者施設に通う娘と孫の3人で生活している。自身の年金と娘の障害年金でやりくりしていたが、負債の返済で家計が回らなくなり、今日生活保護を申請した。今ある食材では、保護が決まるまではもたない。	白米5kg カップ麺6個 袋麺2袋 レトルト食品9箱 ふりかけ1袋 缶詰6缶 味噌汁1袋 めんつゆ1本
令和2年11月26日(木)	女性 ①	自分の年金(6万円)と息子のアルバイト代で生活しているが、息子には重度のアレルギーがあり仕事を続けることが難しく、銀行等からの借入れを繰り返している。11月に肺がんの手術で突発的な支出もあって困窮し、昨日から食事も摂れていない。	白米5kg カップ麺6個 袋麺2袋 レトルト食品7箱 ふりかけ1袋 缶詰8缶 味噌汁1袋 カセットボンベ3本 めんつゆ1本
令和2年11月27日(金)	女性 ②	10月30日に食材を提供し、急場を凌いだ。11月13日に生活保護が決定したが、支給された保護費で遅れていた代金を支払ったため、所持金が無くなった。10月30日には炊飯器を貸出したが、保護費では家具什器費は支給されたいとCWから説明があった。家計の状況を聞き取ると、今後は収支のバランスが取れて行くことが分かったため、今年中に炊飯器を購入し、返却してもらうこととした。	白米3kg カップ麺6個 袋麺2袋 レトルト食品4箱 ふりかけ1袋 缶詰2缶 味噌汁1袋 めんつゆ1本 のりの佃煮1瓶 子ども用紙おむつ(ビッグ)1袋 お尻ふき2袋

令和2年12月1日(火)	女性 ②	11月26日に食材を提供していた。12月1日に緊急小口資金の相談で自宅を訪問すると、米8合程度、缶詰1缶しか残っていなかったため、追加で提供した。	白米3kg カップ麺6個 袋麺2袋 レトルト食品7箱 ふりかけ1袋 缶詰8缶 味噌汁2袋
令和2年12月2日(水)	女性	子ども3人(小6・小4・小1)との4人暮らし。5月に緊急小口資金を借入れて、急場を凌いだ。その後も収入源が続いたため、10月末に総合支援資金の借入れで来所したが、今後の収入の見通しも立たなかったため、生活保護の申請を提案した。11月25日に生活保護を申請したが、食べる物が無い。	カップ麺8個 袋麺4袋 レトルト食品7箱 缶詰9缶 味噌汁3袋 めんつゆ1本のり のり佃煮1瓶 なめ茸1瓶 お茶漬け1袋
令和2年12月3日(木)	男性	11月末に嘉麻市に転入し、生活保護の申請をしたが所持金も食べる物も家財道具も全く無い。11月までは失業保険を受給していたが、12月以降は収入の見込みがない。本人は就労を希望しているが、面談時も目の焦点が合わず、質問にも義姉の促して答えていたため、医療機関の受診が必要と感じた。	白米3kg カップ麺6個 レトルト食品6箱 ふりかけ1袋 缶詰6缶 味噌汁2袋 炊飯器貸出
令和2年12月8日(火)	女性	夫と離婚し実家に身を寄せていたが、市内の住宅に入居することが出来た。息子と2人で生活しているがうつ病で働けないため、今日生活保護を申請した。保護が決まるまでの間、食べる物が無い。	カップ麺6個 袋麺3袋 レトルト食品12箱 ふりかけ1袋 缶詰3缶 味噌汁1袋 お茶漬け1袋
令和2年12月14日(月)	男性 ①	妻と子ども4人の6人暮らし。7月に嘉麻市に転入し、工場に働いていたが適応障害の診断を受け休職している。妻も自律神経の病気があり、仕事が長く続かず、今後の見通しが立たないため、今日生活保護を申請した。決定までの間の食材が無い。	白米5kg 袋麺1袋 レトルト食品7箱 ふりかけ2袋 缶詰4缶 味噌汁1袋 めんつゆ1箱 なめ茸2瓶 のりの佃煮2瓶
令和2年12月18日(金)	男性 ②	12月14日に食材を提供したが、在庫不足で十分提供できなかったため、追加で提供した。12月14日には生活保護が決定する見込みである。	白米5kg レトルト食品3箱 ふりかけ1袋 缶詰2缶 味噌汁2袋 そうめん1箱 めんつゆ1本 なめ茸2瓶 しゃけ2瓶 のりの佃煮1瓶
令和2年12月23日(水)	男性 ③	12月18日に24日までの予定で食材を追加提供したが、23日から子供が通う小学校の給食がなくなり、家で食べることとなったので、明日まで食材が持ちそうにない。急ぎ追加で提供した。	白米5kg レトルト食品6箱 ふりかけ1袋 缶詰6缶 味噌汁2袋 なめ茸1瓶
令和3年1月15日(金)	男性	過去にセンターで保護につないだ方から、お金を落としてしまい、食べる物もないとの相談があり、保護課のCWと自宅を訪問した。3日間何も食べていない状況であった。保護課では対応できないとのことであったため、市内の弁当業者に月曜日～金曜日1日1食を依頼した。土曜日・日曜日の1食を補うため食材を提供した。	白米2kg カップ麺4個 レトルト食品7箱 缶詰2缶 カップ味噌汁1個 味噌汁2袋 お茶漬け1袋 シャケ1瓶 カップスープ2個
令和3年1月22日(金)	女性	月額3万円の年金と相続したお金で生活していた。昨年大腸がんで入院を繰り返したため、所持金がなくなり、1月18日に生活保護を申請した。保護が決まるまでの間食べる物が無い。	白米2kg ふりかけ1袋 缶詰10缶
令和3年2月3日(水)	女性	保護課係長からの相談。明日の診断会議で保護が決定する見込みであるが、全く食べる物が無いので、1日分の食材を提供してほしい。この方は、先月生活福祉資金の借入相談に来所されており、収入が少なかったため生活保護につないだ経緯がある。	白米5kg カップ麺4個 レトルト食品2箱
令和3年2月9日(火)	女性	78歳の独居高齢者。月額約9万円の年金で生活しているが、コロナ禍の影響で自宅での時間が多くなったため電気代が上がり、そのままにしていたら解約の通知が届いた。お金を借りたいと来所された。貸付は出来ない旨を説明し、九電に状況を確認すると2月15日に電気代を支払えば止まらぬとのことであった。所持金もなく食べる物も無いとのことであったため、年金までの食材を提供した。担当のケアマネと情報を共有して行く。	白米1.5kg ふりかけ1袋 缶詰3缶 わかめスープ1箱 さけたらこ2缶
令和3年2月10日(水)	女性	昨年6月に飲酒運転で逮捕され、2月7日に出所した。2月15日には施設に入所する母親の老齢年金が出るが、それまでの間食べる物が無いとのことで、食材を提供した。リュウマチや人工膝関節を装着し、身障手帳を取得している。逮捕前にはすでに職場(就労継続A型事業所)を退職しているが、在職中にリュウマチが悪化し、傷病手当を受けていた。収監中は、不支給となっていたため3月から再支給される。(5月まで)成人した子どもと同居している。今後、自立相談支援センターでプランを立てて支援する予定。	白米3.5kg レトルト食品5箱 味噌汁1袋 ごはんです1瓶

令和3年2月18日(木)	女性	60歳代独居女性。昨年4月にコロナ禍の影響で緊急小口資金を借入れ。9月に年金とパート収入で生活しているが、負債があって家計が回らないと再相談があり訪問した。債務整理の提案と自立相談支援センターの介入を提案したが断られた。今回、股関節の手術を受けることとなり休職したため、今日生活保護を申請した。負債は更に増えているようだったが、弁護士相談を利用することはためられたため、保護が決定するまでの食材を提供した。	白米5kg カップ麺8個 レトルト食品11箱 ふりかけ2袋 缶詰11缶 味噌汁5袋 お茶漬け3袋入り1個
令和3年3月8日(月)	男性	保護課からの相談で、現在生活保護を申請しているが、所持金も食べる物もないため、保護が決まるまでの間の食材を提供できないかとの内容。本人に連絡すると、右半身に麻痺があり調理は難しいが、電子レンジはあるとのことであった。	ふりかけ1袋 缶詰6缶 バックごはん3個
令和3年3月8日(月)	男性	保護課からの相談。1月に刑務所を出所し、働くために新潟県に行ったが年齢が71歳ということで働くことが出来なかった。その後、糸田町のシェアハウスで3人での生活をしたが、折り合いが悪くなり3月2日に嘉麻市に転入し、生活保護を申請した。保護は1週間程度で決定する方向とのこと、その間の食材を提供した。	白米3kg カップ麺9個 ふりかけ2袋 缶詰9個 味噌汁1袋 のり佃煮1瓶
令和3年3月8日(月)	女性 ①	現在老齢年金(月額約90,000円)で生活しているが、1月に義兄の葬儀代の一部を負担したことと、携帯代の滞納を2月の年金で支払ったため、生活が苦しくなった。3月1日の時点で所持金が底をつき、1週間お茶しか飲んでいないとのことで、顔色も悪かったため、食材を提供した。3月に再度訪問し、今後の生活について話し合うこととした。	白米5kg カップ麺2個 袋麺2袋 レトルト食品3箱 ふりかけ1袋 缶詰4缶 味噌汁2袋 めんつゆ1本
令和3年3月18日(木)	女性	昨年母親が亡くなり一人暮らしとなった。登録ヘルパーとして働いているが、収入が少なく生活が苦しい。キャッシングやカード払いもあり、家計が回らない。所持金も食べる物もないとのことであったため、食材を提供した。 今後は、転職に向けた支援と債務については家計改善支援員と一緒に整理していく。	白米5kg カップ麺4個 レトルト食品3個 ふりかけ1袋 缶詰4缶 お茶漬け1袋 こんぶ1袋 カップスープ2個 スティックシュガー1袋
令和3年3月18日(木)	男性	年金(50,000円/月)とパート収入(50,000円/月)で生活している。3月10日に給料が入ったばかりだが、ひと月遅れていた光熱水費の支払いを優先したため、生活が苦しくなった。所持金がほとんどなく、食材も尽きかけており、フードバンクから食材を提供した。先日、リウマチが発覚し、仕事を増やすことは難しい状況。3月中に通院等も控えており、家計改善支援員と改めて訪問し、今後について話し合うこととした。	白米5kg カップ麺5個 レトルト食品2個 ふりかけ1袋 缶詰4缶 カップスープ1個 お茶漬け1袋
令和3年3月26日(金)	女性 ②	令和2年3月8日に食材を提供して以降の状況確認に訪問すると、お米以外は全く残っていなかったため、追加で食材を提供した。また、3月1日にかかりつけの病院を受診したが、お金がなく糖尿病の薬を受け取れず、3週間服薬していないとのことのことであったため、薬局に状況を説明し、4月の年金で支払うことで了解をもらい、本人に同行して薬を受け取った。	カップ麺3個 レトルト食品2個 ふりかけ1袋 味噌汁1袋 カセットボンベ1本

## ②事業への協力状況

・食品及び物品の協力件数24件

【障がい者支援施設清浄学園4件 特別養護老人ホーム第二稲穂園1件 障がい者支援施設さくら学園4件

障がい者支援施設第2さくら学園4件 介護老人保健施設シルバークア嘉穂1件 かま福祉ネットワーク1件 嘉麻市健康課1件  
嘉麻市社会福祉協議会1件 市民7件】

・協力いただいた食品及び物品の内訳

<p>【食品】米84kg ご飯パック16個 おかゆ10袋 カップ麺190個 麺類57食 即席汁物140袋 レトルト食品209食 ふりかけ・のり64袋 お茶漬け12袋 缶詰433缶 佃煮・鮭など28個 調味料1点 めんつゆ22本 めんつゆ2袋</p> <p>【物品】ケトル1台 炊飯器1台 電子レンジ1台 洗濯機1台</p>
---

### ③食品及び物品の提供状況

- ・食品を必要とした方 37人 ・食品を提供した延べ回数 43回
- ・物品を必要とした方 5人 ・物品を提供した延べ回数 5回
- ・貸出しを必要とした方 3人 ・物品を貸出した延べ回数 3回
- ・提供した食品・物品及び貸出した物品の内訳

【提供食品】米 126kg ご飯パック 16個 袋麺 44袋 カップ麺 170個 即席汁物 54袋 レトルト食品 209食 缶詰 201缶  
ふりかけ 40袋 めんつゆ 21本 鮭瓶・佃煮 13個 なめ茸 6個 お茶漬 6袋 昆布 1袋 調味料 32点 飲料水 6点

【提供物品】幼児用紙オムツ 5袋 お尻ふき 5パック カセットコンロ 1台 カセットボンベ 16本 ケトル 1台 炊飯器 1台  
電子レンジ 1台 洗濯機 1台

【貸出物品】冷蔵庫 1台 炊飯器 3台

### ④食品及び物品在庫一覧（令和3年3月31日現在）

【食品】米 27kg ご飯パック 3食入り 13袋 おかゆ 10袋 雑炊 13袋 カップめん 42個 そうめん 13袋 パスタ麺 4袋  
レトルトカレー 28箱 肉炒玉子 5袋 にら玉 5袋 かに玉 6袋 中華丼 1箱 牛丼 3箱 すき焼丼 3箱  
吸い物 8食入り 2袋 めんつゆ 3本 スープ各種 64袋 缶詰 236缶 のりの佃煮 3個 高菜ちりめん 1個 焼けさけ 2個  
のり 6袋 お茶漬 4袋 なめたけ 2個 とりそぼろ 2個 とろろこんぶ 2袋 ふりかけ 12袋 砂糖 1袋 タバスコ 2箱  
こしょう 3箱 一味唐辛子 3箱 七味唐辛子 2箱 お好みソース 1本 スティックシュガー 2袋

【物品】石鹸 15個 スポンジ 2個 布巾 2枚 タオル 2枚 お風呂洗剤 2本 消臭スプレー 1本 お風呂の洗剤（詰め替え用）2袋  
ハンドソープ 1本 ボディソープ（詰め替え用）1袋 ボディシャンプー 2本 カセットボンベ 3個セット 3個  
カセットボンベ 11個 暖房器具 2台 冷蔵庫 1台 ボット 1個 缶切り 1個  
子ども用紙おむつLサイズ 2袋 子ども用紙おむつMサイズ 5袋 子ども用紙おむつSサイズ 4袋  
おしりふき 27袋 箱ティッシュ 5箱 トイレトペーパー 2袋 やかん 1個 包丁セット 1セット スーツ上下セット 8セット  
スーツ上着 2着 カッターシャツ 4枚 履歴書（パート・アルバイト）5袋 履歴書（新卒・再就職）4袋

## （8）無料職業紹介所（嘉麻市生活困窮者自立相談支援事業受託）に関すること

### ①求人登録状況

- ・常用求人登録件数 49件
- ・求人登録企業 6件及び業種区分

#### 【企業名及び業種】

- ・社会福祉法人恵寿会グループホーム恵寿（介護サービスの職業） ・サンコーケアライフ（株）ライフステイいなつき（介護サービスの職業・調理師・飲食物調理の職業） ・麻生介護サービス（株）（介護サービスの職業・看護師） ・ほっともつと山田店（飲食物調理の職業）
- ・障がい者支援施設さくら学園（飲食物調理の職業） ・医療法人新緑会愛恵医院（介護サービスの職業）

### ②求職登録状況

- ・求職登録者 4人
- ・年齢（21歳～30歳 1人 31歳～40歳 1人 41歳～50歳 1人 61歳～70歳 1人）
- ・性別（男性 3人 女性 1人）
- ・紹介状発行者数 1人
- ・就労につながった方 1人

【就労先】社会福祉法人嘉穂の里 さくら学園

# 地域福祉・在宅福祉推進部門 総合相談・地域づくり推進係

## 【かまひきこもり相談支援センター】 事業報告

### 1. 総括

令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大によって、2度の緊急事態宣言が発出され、外出や会食の制限、リモートワークなど、感染拡大防止のための取り組みが進められたことで、社会とつながる機会が激減した1年であったと思います。

かまひきこもり相談支援センター（以下「センター」という。）とつながっているのは13名8世帯で、当事者の方の年齢は20歳代3名、30歳代5名、40歳代3名、50歳代2名となっています。今年度、受けた相談は515件（前年比242件減）で、全体の約6割（388件）が電子メールでのやり取りで、主な相談内容は「誰にも会いたくない。人に会うのが怖い」「寂しい。孤独に押し潰されそう」等、電話や面談では話せないことでもメールだと素直な気持ちを表せることが分かりました。

また、新規相談5件のうち3件は、コロナ禍の影響で減収となって生活福祉資金の特例貸付の相談に来所されたことをきっかけとしてつながった方で、言い換えればコロナ禍がなければつながることができなかった方でもあります。そのことからすると地域の中にはひきこもり状態にある当事者やそのことによって悩みを抱えている家族の方々がまだまだたくさんおられ、その方々と今後どのような形でつながっていくかがセンターとしての大きな課題だと思っています。残りの2件は家族及び障がい者基幹相談支援センターからの相談でした。

寄ってこハウスで開催しているフリースペースや家族会は、家族の高齢化や当事者の方がサービスにつながったこと、さらには感染拡大防止のために、11月まで休止したこともあって、参加者が減少しました。12月からは、家族からの「外出の機会が減った」「自宅ではピリピリとした空間で生活している」等の声を受けて再開し、フリースペースを14回、家族会を4回開催しました。家族会については、今年度から保健師にも参加してもらい、ご家族の健康や子どものかかわり方について一緒に考える機会を持ちました。新たににつながった家族の方に参加を促しましたが「他の人に知られたくない」等の理由で参加には至っていませんが、家族が孤立せずリフレッシュする場としての役割がありますので、継続していきたいと思っています。

この他、自宅中心の生活をしてきた男性を今年度から取り組んだワンポイントジョブ事業につなぎ、関係性をつくりながら、ハローワークと一緒に就職支援をしています。今後もご本人が役割をもつことで、社会とつながる機会が持てるようアプローチしていきたいと思っています。

### ■ 具体的事業活動

#### (1) 相談事業

##### ① ひきこもりに関する相談対応

515回（来所9回 訪問14回 電話55回 メール388回 同行5回 転送電話2回 関係機関との連絡調整42回）

##### < 継続相談の詳細 >

- ・当事者 13名（20歳代3名 30歳代5名 40歳代3名 50歳代2名）
- ・家族 8世帯

##### < 新規相談の詳細事項 >

- ・新規相談 5件（来所3件 電話2件）
- ・相談経路 家族から4件 障がい者基幹相談支援センターから1件
- ・当事者の年齢 10代1人 20代1人 30代2人 40代1人
- ・ひきこもり期間 1年未満1件 2年未満1件 不明3件

#### (2) 本人及び家族への支援事業

##### ① フリースペースの開催

- ・開設回数 14回（4月2日、12月3日、12月10日、12月17日、1月14日、1月21日、1月28日、2月4日、2月11日、2月18日、2月25日、3月4日、3月11日、3月18日、3月25日）
- ・開催場所 寄ってこハウス
- ・参加者 当事者1人 1家族（ご両親）
- ・内容 テレビを観たり、最近注目されている話題について語り合うなど、気分転換の時間となるよう努めた。また、3月には梅林公園に出かけて、散歩を楽しんだ。

##### ② 家族会定例会の開催

- ・開催回数 4回（12月17日、1月28日、2月25日、3月25日）
- ・開催場所 寄ってこハウス
- ・参加者 1家族（ご両親）
- ・内容 子どもが自宅中心の生活を続けていることに対する親の苦しい思いや将来への不安など、率直な気持ちを話していただく時間となった。また、今年度から参加してもらった保健師には、ご自身の体調について相談をされた。

# 地域福祉・在宅福祉推進部門 総合相談・地域づくり推進係 【かまボランティア・市民活動センター】 事業報告

## 1. 総括

かまボランティア・市民活動センター（以下「センター」という。）が令和2年度に受けた相談は48件（前年比79件減）で、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため人と接するボランティア活動や市民活動が自粛されたことで相談が大幅に減りました。相談の内訳は、ボランティア活動への参加申し込みが1件、ボランティア活動の依頼が1件、ボランティア保険の申し込み・問い合わせが30件、その他が16件で、唯一あったボランティアの依頼は、小学校での点字学習の指導者を派遣してもらえないかというものでしたが、第2波の感染が広がったことで中止となり、点字道具のみの貸出となりました。今回のコロナ禍は、ボランティア活動にも大きな影響があり、長年活動してこられたグループが活動の場の減少とメンバーの高齢化を理由に解散を決めました。その反面、コロナ禍によって改めて人と人とのつながりの大切さを痛感することとなり、今後は、多人数でのボランティア活動だけでなく、個別の地域生活課題に応じたボランティア活動を広げていくため、来年度は、小修繕ボランティア養成講座を開講することとしています。

かまボランティア・市民活動センター運営委員会は委員の改選を行ったほか、来年度に開講を予定している災害ボランティア養成講座について協議しました。

災害ボランティアセンターについては、今年は幸い、本市で大きな災害はありませんでしたが、研修会への参加や不足資材の確認と補充を行いました。研修会では、災害ボランティアセンターの運営方法や災害支援活動における連携・協働について学びました。

## 2. 具体的事業活動

### (1) ボランティア・市民活動センターの運営

#### ① 相談実績

相談件数 48件 <分類> ・活動への参加申し込み1件 ・活動の依頼1件 ・ボランティア保険の申し込み・問い合わせ30件  
・その他相談・問い合わせ16件

#### ② ボランティアに関するニーズの把握及びコーディネート

活動依頼先	依頼内容	結果
下山田小学校	点字学習での指導をしてくれるボランティアをお願いしたい。	センターに登録している点字のボランティアグループに活動依頼をして、ボランティアの調整を行ったが、第2波による感染拡大のため中止となり、点字道具のみの貸出となった。

#### ③ 広報紙「えがお」によるボランティア・市民活動情報の発信

- ・4回（第162号～第165号）各庁舎、公共施設ほか、希望する行政区に行政区長・福祉推進員を介して配布した。
- ・かまボランティア・市民活動センター情報のページを設け、ボランティアに関する情報を発信した。

#### ④ SNSを活用した情報発信

	募集情報 (回)	災害関連 (回)	その他 (回)	合計
ブログ	1	2	5	8
Facebook	1	2	5	8
合計	2	4	10	16

#### ⑤ ボランティア活動保険の周知及び事務手続き

##### ・ボランティア活動保険の加入実績

地区名	加入件数(件)	加入人数 (人)	内訳	
			男性(人)	女性(人)
稲築地区	10	63	17	46
碓井地区	1	19	11	8
山田地区	6	89	18	71
嘉穂地区	6	77	22	55
合計	23	248	68	180

##### ・ボランティア行事用保険の加入実績

地区名	加入件数(件)	加入内訳	
		サロンでの加入 (件)	その他の行事 での加入(件)
稲築地区	0	0	0
碓井地区	0	0	0
山田地区	1	0	1
嘉穂地区	5	0	5
市外	0	0	0
合計	6	0	6

⑥ボランティア運営委員会委員の改選

任期は、令和2年7月1日から令和4年6月30日まで

選出区分	氏名	所属団体
学識経験者	藤澤 健児	NPO法人 エンジェルウィングス
ボランティア・市民活動グループ部会	伊藤 壽	わくわくマジック山田
ボランティア・市民活動グループ部会	福澤 準子	嘉麻市食生活改善推進会
個人ボランティア部会	安井 勝彦	個人ボランティア
個人ボランティア部会	青井 泰斗	個人ボランティア
社会福祉施設部会	中田 大輔	社会福祉法人 愛光会 障がい者支援施設 清浄学園
福祉教育部会	佐藤 恵太朗	福岡県立嘉徳総合高等学校 嘉麻市立大隈城山校
福祉教育部会	杉野 晴一	福岡県立稲築志耕館高等学校
嘉麻市社会福祉協議会理事	坂口 清春	嘉麻市社会福祉協議会理事

⑦ボランティア運営委員会の開催

回	開催年月日	出席者	協議内容
27	令和3年3月26日(金)	8名	①委員長・副委員長の互選について ②令和3年度かまボランティア・市民活動センターの取り組みについて ③災害ボランティア養成講座の実施について

(2)災害ボランティアセンター事業

①災害ボランティア登録者の把握

センターに登録している方（市内在住者）及び過去に災害ボランティアとして活動経験のある方に参加を呼びかけ、10名の方から参加の意向を確認できた。

②市内社会福祉施設等の協力体制の確認

災害が発生した際には、かま福祉ネットワーク委員会に加入する13法人21施設の職員の方々が、状況に応じて応援に入ってくれることを確認した。

③不足資材の確認及び補充

災害ボランティアセンターで備えている資材を確認し、不足する資材を購入した。

◆補充した資材

資材名	補充数	備考	資材名	補充数	備考	資材名	補充数	備考
どうの袋	300枚	50枚入り×6袋	剣スコップ	4本	小型のもの	ホースリール	1個	-

◆資材一覧表

資材名	在庫数	資材名	在庫数	資材名	在庫数
剣スコップ	48本	スポンジ（黄色）	12個	土のう袋	約400枚
角スコップ	22本	たわし	5個	土のうスタンド	26個
かき板	25本	コンパネ	18枚	一輪車	20台
唐くわ	4本	アルミ製ブリッジ（梯子）	2個	ケルヒャー（高圧洗浄機）	2台
備中くわ（3本爪）	6本	バール（青）	13個	業務用扇風機	2台
つるはし	2本	水切り	2本	投光器	2台
ハンマー	3本	洗い桶	4個	電工ドラム	2個
フォーク（スコップタイプ）	3本	ホースリール	1個	誘導ライト	4個
十能	20個	ブロック	2個	ヘッドライト	29個
園芸用スコップ	3個	ブルーシート（24畳）	3枚	ヘルメット	9個
側溝掃除用スコップ（青）	1個	ブルーシート（18畳）	4枚	ヘルメットホルダー	8個
ほうき	18本	ブルーシート（12畳）	9枚	ゴーグル	16個
松葉ほうき	1本	200タンク	14個	ホワイトボード	2台
竹ほうき	2本	クーラーボックス（青）	3個	スプレー容器	2個
ちりとり	3個	使い捨てマスク	約2000枚	リュック	4個
てみ	24個	背抜き手袋	30組	単4電池	60個
バケツ（80）	20個	軍手	100双	単3電池	10個
バケツ（150）	2個	防塵マスク	約50枚	ロープ	4ロール
バケツ（1200）	2個	フェイスタオル	80枚	アルコール消毒液	3個
ブラシ	6個	レインコート	62枚	スプレー容器	2個
デッキブラシ	3個	養生シート	1本	工具セット（ドライバー等）	1セット

④研修会への参加

年月日	会 場	内 容	参加者
令和2年10月24日(土)・ 25日(日)	八重洲博多ビル	令和2年度災害ボランティアセンター運営者育成研修「基本編」 ・講義「災害ボランティアセンターの機能と役割」 ・グループワーク「被災者ニーズの把握」 ・講義「災害支援活動における連携・協働」 ・グループワーク「被災者ニーズ解決のための活動について」 講師：(一社)九州防災パートナーズ 藤澤 健児 氏	職員2名
		令和2年度災害ボランティアセンター運営者育成研修「応用編」 ・事例紹介Ⅰ 久留米市社会福祉協議会 古賀 公浩 氏 ・事例紹介Ⅱ 災害NGO 結 前原 土武 氏 ・事例紹介Ⅲ 福岡弁護士会 松尾 朋 氏 ・講義「災害支援活動における連携・協働について」 講師：JVOAD (NPO 法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク) 事務局長 明城 徹也 氏 ・グループワーク「被災者支援における各団体の連携について」 講師：(一社)九州防災パートナーズ 藤澤 健児 氏	職員2名

# 地域福祉・在宅福祉推進部門

## 【在宅介護等支援係】事業報告

### ■具体的事業活動

#### 1. 介護保険に基づく事業の推進

##### (1) 介護事業等に関する見直しの実施

###### ① 介護事業見直し委員会の設置

任期：令和2年6月1日～令和3年3月31日まで

役職	委員氏名	選出区分	所属
委員長	野見山 桂子	本会の理事会に属する者	本会理事（特別養護老人ホームひまわり園施設長）
副委員長	牧口 輝代	本会が経営する介護事業所に属する者	本会職員（かま訪問介護事業所介護員兼指定計画相談支援員）
委員	平田 裕子	〃	本会職員（かま訪問介護事業所管理者兼サービス提供責任者）
〃	藤嶋 勇治	障がい者基幹相談支援センターに属する者	飯塚・桂川・嘉麻障がい者基幹相談支援センター（センター長）
〃	茶木 義人	福岡県社会福祉協議会に属する者	福岡県社会福祉協議会地域福祉部（部長）
〃	西 光典	訪問介護事業等を経営し、介護事業に精通する者	グリーンコープ生活協同組合ふくおか福祉事業本部（本部長）

###### ② 介護事業見直し委員会の開催

回	年月日・時間・会場	出席者	内容
1	令和2年6月23日（火） 午後1時30分～午後3時42分 山田ふれあいハウス会議室	6人	・委員紹介 ・会長あいさつ ・委員長、副委員長の選任 【協議事項】 (1) 本会介護事業の経営状況（事業・収支）について (2) 経営悪化に至っている原因や課題等について（協議） (3) 嘉麻市の介護サービス状況及び要支援者等の将来見直しについて (4) 第2回会議に向けて
2	令和2年7月28日（火） 午後1時30分～午後3時11分 山田ふれあいハウス会議室	6人	・検討資料の修正および令和2年6月の実績について 【協議事項】 (1) 第1回委員会の振り返りについて (2) 見直しの方向性について（再協議） (3) 定めた方向性を具体化するために（検討事項の整理など） (4) 第3回会議に向けて
3	令和2年9月1日（火） 午後1時40分～午後2時28分 山田ふれあいハウス会議室	6人	・令和2年7月の実績について 【協議事項】 (1) 第2回委員会の振り返りについて (2) 事業終了に向けたタムスケジュールについて (3) 訪問介護事業の見直しに関する答申(案)の柱建てについて (4) 第4回会議に向けて
4	令和2年11月17日（火） 午後1時30分～午後2時20分 山田ふれあいハウス会議室	6人	・令和2年8月～10月の実績について 【協議事項】 (1) 訪問介護事業の見直しに関する答申(案)の検討について

###### ③ 訪問介護事業の見直しに関する答申書の提出

本会会長から諮問を受けた訪問介護事業の見直しに関して、「訪問介護事業の見直しに関する答申」を令和2年11月25日（水）野見山桂子委員長が答申書を手渡した。

##### (2) 訪問介護事業（嘉麻北訪問介護事業所）

※訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業については令和3年3月31日で終了し、令和3年4月1日で廃止した。

###### ① 訪問介護事業の実施

- ・実利用者の推移 令和2年3月末20人 令和3年3月末0人 △20人増減
- ・実利用者の要介護区分 要介護1/0人 要介護2/0人 要介護3/0人 要介護4/0人 要介護5/0人
- ・実利用者の利用サービス 身体介護/0人 生活援助/0人 身体及び生活援助/0人
- ・延べ利用者数 230人
- ・延べ利用回数 2,028回
- ・延べサービス提供時間 2164時間50分

###### ② 介護予防訪問介護事業の実施

- ・実利用者の推移 令和2年3月末24人 令和3年3月末0人 △24人増減
- ・実利用者の要支援区分 要支援1/0人 要支援2/0人 事業対象者/0人
- ・実利用者の利用サービス 訪問型/週1回0人 週2回/0人 週3回/0人
- ・延べ利用者数 243人
- ・延べ利用回数 1,198回
- ・延べサービス提供時間 1160時間20分

###### ③ ミーティングの開催 回数12回 延べ参加者数75人

###### ④ 訪問介護員研修の実施 回数10回 延べ参加者数64人

【参考】

訪問介護事業

事業区分	分類項目	令和2年度	令和元年度	比較増減
介護給付	年度末実利用者数	0人	20人	△20人
	延べ利用者数	230人	209人	21人
	延べ利用回数	2,028回	1,973回	55回
	延べサービス提供時間	2,164時間50分	2,061時間44分	103時間6分
予防給付	年度末実利用者数	0人	24人	△24人
	延べ利用者数	243人	283人	△40人
	延べ利用回数	1,198回	1,504回	△306回
	延べサービス提供時間	1,160時間20分	1,456時間20分	△296時間0分

2. 受託に基づく事業の推進

(1) 生活管理指導員派遣事業

① 訪問介護員による家事援助サービスの提供状況

かま訪問介護事業所 月平均利用者数 4.6人（独居世帯 男性 2.3人 女性 2.3人） 70歳代 0.9人 80歳代 3.7人 月平均利用回数 15回  
月平均サービス提供時間 15時間00分（家庭内の掃除及び整理整頓の実施） 介護保険サービスへの移行 5件

【参考】生活管理指導員派遣事業実績 年度別比較

事業所名	分類項目	令和2年度	令和元年度	比較増減
かま訪問介護事業所	月平均利用者数（人）	4.6	7.0	△2.4
	月平均延べ利用回数（回）	15	24	△9
	月平均サービス提供時間	15時間	24時間	△9時間

3. 障害者総合支援法に基づく事業の推進

(1) 居宅介護事業（嘉麻北障害者居宅介護事業所）

※障がい者居宅介護事業については令和3年3月31日で終了し、令和3年4月1日で廃止した。

- ・実利用者数の推移 令和2年3月末 3人 令和3年3月末0人 △3人増減
- ・実利用者の障害区分 身体障害/2人 知的障害/0人 精神障害/1人
- ・実利用者の利用サービス 家事援助/2人 身体介護/1人
- ・延べ利用者数 24人 ・延べ利用回数 88回 ・延べサービス提供時間 102時間15分

(2) 同行援護事業

※障がい者同行援護事業については令和3年3月31日で終了し、令和3年4月1日で廃止した。

- ・実利用者の推移 令和2年3月末 2人 令和3年3月末0人 △2人増減
- ・実利用者の障害区分 視覚障害/2人
- ・延べ利用者数 12人 ・延べ利用回数 38回 ・延べサービス提供時間 33時間0分

【参考】

障害者自立支援事業

事業区分	分類項目	令和2年度	令和元年度（10ヵ月）	比較増減
居宅介護事業	年度末実利用者数	0人	3人	△3人
	延べ利用者数	24人	13人	11人
	延べ利用回数	88回	62回	26回
	延べサービス提供時間	102時間15分	54時間30分	47時間45分
同行援護事業	年度末実利用者数	0人	2人	△2人
	延べ利用者数	12人	12人	0人
	延べ利用回数	38回	34回	4回
	延べサービス提供時間	33時間0分	38時間30分	△5時間30分

(3) 指定特定相談支援事業

※指定特定相談支援事業については令和3年3月31日で終了し、令和3年4月1日で廃止した。

- ・実利用者数 令和2年3月末 10人 令和3年3月末17人 7人増減
- ・実利用者の障害区分 身体障害/4人 知的障害/9人 精神障害/3人 難病1人
- ・延べ利用者数 176人

(4) 指定障害児相談支援事業

※指定障害児相談支援事業については令和3年3月31日で終了し、令和3年4月1日で廃止した。

- ・実利用者数 令和2年3月末 3人 令和3年3月末4人 1人増減
- ・実利用者の障害区分 身体障害/3人 知的障害/1人
- ・延べ利用者数 35人

【参考】

指定計画相談支援事業

事業区分	分類項目	令和2年度	令和元年度	比較増減
指定特定相談支援事業	実利用者数	17人	10人	7人
	延べ利用者人数	176人	60人	116人
指定障害児相談支援事業	実利用者数	4人	3人	1人
	延べ利用者人数	35人	27人	8人

4. その他の取り組み

(1) 新型コロナウイルス感染拡大の防止等を図るために打ち出された助成金等の活用

助成金名称	助成団体	助成額	使途内容
嘉麻市医療機関等緊急環境整備交付金	嘉麻市	1,200,000円	介護職員への手当支給、感染予防対策に伴う備品購入（非接触型体温計、ビニール手袋、アルコール消毒液等）感染予防のための環境整備（空気清浄機、エアコン、パーティション）
令和2年度福岡県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金（介護分）	福岡県	300,000円	介護職員への慰労金支給（6人）